Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都港区虎ノ門4-1-1　虎ノ門パストラル内
Web　http://www.route-press21st.jp

待ったなし 地球温暖化対策

渥美半島は周囲を海に囲まれ風が強い

愛知県田原市は風、太陽光、遊休農地など地域資源を有効に活用する。伊勢湾に面した小中山町の西ノ浜には渥美風力開発の風力発電（1500キロワット）の風車が5基、力強く廻っている。主な農産物はキャベツやブロッコリー、メロンなど。農業産出額は全国1位だが、市は遊休地に菜の花を植える「エコ・プロジェクト」で、循環型社会の実現を目指している。（撮影・新藤健一）

地球が温暖化にあえいでいる。北極海の氷域は狭まり、南太平洋の島々は水没のおそれも。大型台風やハリケーンなどの異常気象。日本も昨夏、最高気温の記録を更新し亜熱帯化が進む。地球はどうなってしまうのか。21世紀は「環境の世紀」。今、必要なのは地球温暖化対策だ。真摯なエコへの取り組みである。

7月の北海道洞爺湖サミット（主要国首脳会議）は、温暖化問題が最大の焦点になる。京都議定書に続く13年以降の温室効果ガス削減について、議長国日本が世界に具体策を示せるかが問われる。政府は2月、有識者による「地球温暖化問題に関する懇談会」の設置を発表した。京都議定書の目標達成に向けた具体策や排出権取引制度導入などを議論する。

電力や鉄鋼業界からもメンバーが入り、期待を集める。現実は、エネルギー関係の温室効果ガス排出量が圧倒的に多い。個人が省エネやエコ問題に必死に取り組んでも効果はすぐ上がらない。しかし、個人誰もが高いエコ意識を持つことはとても重要である。

「それなら地域がまとまってエコ問題に取り組もう」と、自治体やNPO、個人も企業も一緒に環境問題に立ち向う地域がある。「たはらエコ・ガーデンシティ構想」を掲げる愛知県田原市だ。地元は「環境共生型まちづくり」とうたって積極的に情報を発信し、全国から視察が絶えない。

太平洋に突き出た常春の渥美半島、500年の歴史ある城下町を舞台に、市と住民と企業が協力し7つのプロジェクトを進める。

国土交通省は04年、この構想を「環境行動計画モデル地区」に選定し、同省中部地方整備局も、昨年の日本風景街道の登録を受けて改めて注目。

島崎藤村の「椰子の実」で有名な半島の先端・伊良湖岬から静岡県境に続く国道42号の沿道は、菜の花を活用した街道風景を創出し、廃食用油燃料化で作ったクリーンエネルギーBDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）を普及させ、環境に配慮した車走行を目指すなど、様々な試行を続ける。

豊かな自然環境を利用した風力発電、太陽光発電など新エネルギーの導入、促進への取り組み、資源リサイクルによる、循環型社会実現への挑戦は目覚ましい。

エコへの積極的な施策で全国の関心を集める先進モデル地区、環境共生都市「たはらエコ・ガーデンシティ」を見た。

地域一丸「たはらエコ・ガーデンシティ」

第17号　INDEX

1〜3	特集　地球温暖化対策 愛知県田原市の試み
4/5	日本風景街道
6	セミナー「社会起業で再チャレンジ」
7	西村明宏・内閣府大臣政務官に聞く
8/9	特集　駅ナカ記念館12選
10	国土学事始め
11	話題の道の駅／道アンケート
12/13	全国グリーン・ツーリズムネットワーク
14	読者の声
15	プレゼント／クイズ

ホームページを刷新！　どしどしアクセスを http://www.route-press21st.jp

大きな風車、太陽光発電パネル……

愛知県田原市の試み

2月初旬。渥美半島に田原市を訪ねた。太平洋岸は片浜十三里に並走して国道42号。太平洋岸自転車道もあり、街道沿いは、既に菜の花が咲き誇っていた。あちこちに大きな風車が見える。豊かな自然を利用した風力発電の風景だ。家々の屋根には太陽光発電のパネルも多く「環境共生型まちづくり」を進める市の面目躍如である。「たはらエコ・ガーデンシティ構想」。住民、企業と一体になった、田原市の試みを紹介する。

市と住民、企業が協力
7つのプロジェクトを実施

渥美半島は、太平洋と三河湾に囲まれた自然豊かな環境にあるが、田原市環境部エコエネ推進室によると、90年代に地域の産業化が進むにつれ、水質の汚濁や農地荒廃など、環境悪化が見られるようになった、という。

そこで市は、95年度に田原市環境保全計画を策定。98年度に「自然環境と調和した豊かな生活創造」を基本理念に「たはらエコエネルギー導入ビジョン」を定め、環境保全のため、クリーンエネルギーの導入や、リサイクル事業を始めた。

今、市と住民と企業が協力し「たはらエコ・ガーデンシティ構想」という環境共生型まちづくりを実践。具体策として、7つのプロジェクトを実施している。

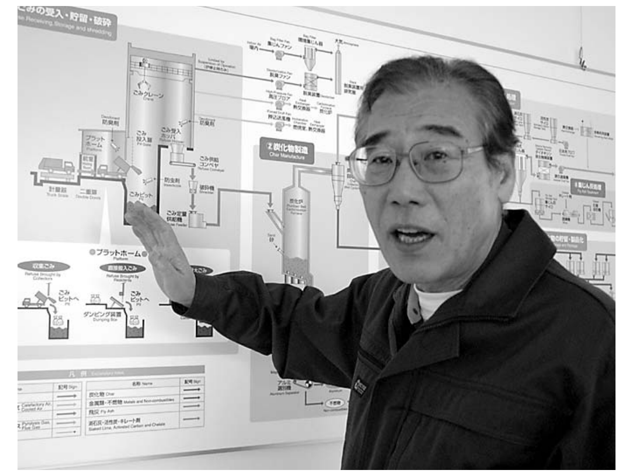
①菜の花エコプロジェクト②廃棄物リサイクルプロジェクト③エコエネルギー導入プロジェクト④省エネルギー推進プロジェクト⑤コンパクトシティプロジェクト⑥グリーン・ネットワークプロジェクト⑦エコ・インダストリープロジェクト…の7つである。

代表的プロジェクトをいくつか見てみよう。

【菜の花エコプロジェクト】

遊休農地の活用を図ろうと、00年から菜の花など景観作物を栽培する「菜の花プロジェクト」を実施。03年以来、菜の花から収穫した菜種でナタネ油を作り、学校給食などで使い始めた。使用後の廃食用油をBDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）と呼ばれる燃料に再生。循環型サイクルのプロジェクトに発展。

あちこちの公共施設には、大きな太陽光パネルが設置されている


田原リサイクルセンターの仕組みを説明する炭生館の洞谷幸徳館長

菜の花の栽培面積は06年度実績で、景観用8・4㌶、菜種油用3・5㌶。廃食用油を再生したBDFは年間約4000㍑を生産した。BDFは、排気ガスの黒煙が軽油より30%少ない▽酸性雨の原因となる硫黄化酸化物の排出量はゼロに等しい▽軽油同等の走行性がある▽特別な改造なしで、ディーゼルエンジンに使用可能、など優れた特性がある。市は代替燃料として公用車2台、スクールバス1台を走らせている。

将来は、一般家庭から廃食油を回収し、市内循環の「ぐるりんバス」の燃料として利用することも計画している。＝4、5面に関連記事。

【廃棄物リサイクルプロジェクト】

市の自慢は100億円をかけて完成したゴミ処理場「炭生館」だ。昭和60年代に建設された「田原リサイクルセンター」の老朽化に伴い05年に田原リサイクルセンター「炭生館」を建設した。

炭生館では、一般廃棄物の可燃ゴミを蒸し焼きにし（炭化処理）、出来上がった炭化物は化石燃料の代替燃料として再利用する。

施設は清潔で、ゴミ処理場なのに臭いが全くない。ゴミを炭に変える最先端施設の稼働エネルギーも風力発電だ。家畜の排せつ物を堆肥化する「エコセンター」も03年から稼働している。

【エコエネルギー導入プロジェクト】

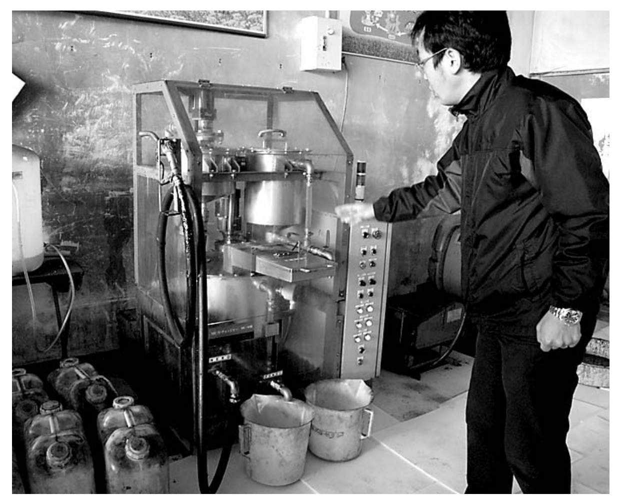
環境負荷の少ないエネルギー消費社会を実現するため、学校や集会所、公園などの公共施設に風力発電や太陽光発電などを導入、クリーンエネルギー化を推進する。

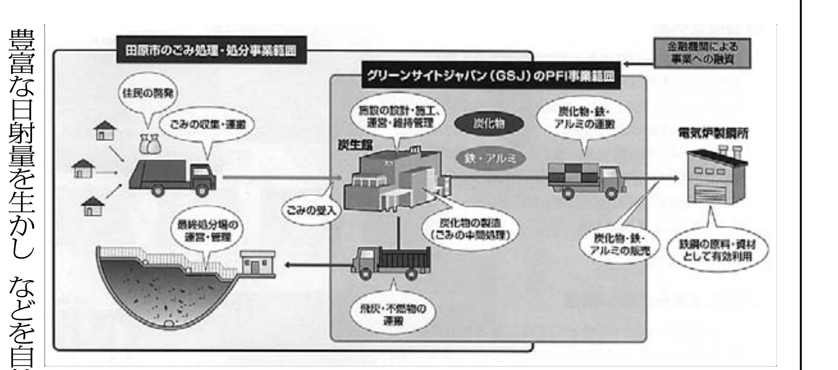
風力発電は、渥美半島特有の強風を利用して国内最高水準の風況と稼働実績を誇る。07年現在、市内には41基、約4万7300㌔㍗の風力発電施設がある。

市の自慢は、蔵王山展望台に設置した300㌔㍗の風力発電装置だ。蔵王山は市内の離れた場所からもよく見え、風車は市のランドマークの役割も果たす。年間平均風速毎秒8・3㍍の好条件。設備利用率は約35%と二酸化炭素削減に貢献している、と自負する。

三河港には風力発電の風車がずらりと立ち並ぶ

豊富な日射量を生かした太陽光発電システムの設置も進む。公共施設には50基250㌔㍗の太陽光発電装置が設置され、一般家庭も含め市内全体の設置状況は07年末で533件、2300㌔㍗にもなる。99年度から始まった市の補助制度（1㌔㍗あたり15万円、上限60万円）も施設の導入促進へ大きな役割を果たしている。


ＢＤＦ燃料化装置の一部



ゴミ処理・処分事業の説明図

◇◇

半島中央の海沿いにある道の駅「めっくんはうす」でも、観光案内看板の照明用に小型の風力・太陽光発電を設置しているほか、中部電力やトヨタ自動車田原工場など企業も、風力発電や太陽光発電などを自社施設に積極的に取り入れ「地域と共存する」クリーンエネルギー開発が実現。

市環境部エコエネ推進室は、廃食用油燃料BDFの活用やゴミから燃料を作るリサイクルなど、工夫をこらした環境への取り組みについて「環境共生型まちづくりとして、積極的に情報発信していきたい」と話している。

走りやすさマップで快適ドライブ！!

カーナビへの展開

カーナビでルート検索を行う場合、一般的には目的地までの最短経路が選択されるため、中にはカーブが連続する区間が含まれるなど、必ずしも走りやすい道路が選択されるわけではありません。そこで、所要時間よりもむしろ安心して運転できる走りやすい道路を利用したいというニーズを満たすため、走りやすさを考慮した経路検索が可能なカーナビを開発しようと、平成20年度の対応カーナビの実用化を目標に、現在、国土交通省国土技術政策総合研究所と民間企業で共同研究を進めています。こうしたカーナビの高度化はITS（高度道路交通システム）の開発分野のひとつでもあり、走りやすい道路の利用を促すことで、ドライバーの安心感の向上など、安全運転にも役立てたいと考えています。

道路の走りやすさのランク付けは、すでに「道路の走りやすさマップ」として取りまとめられ、平成17年9月に公表された九州全域版を皮切りに、現在は、全国版が提供されています。普通の地図は、国道や県道、市道など道路の種類に応じて色分けされたものが一般的ですが、「道路の走りやすさマップ」とは、道路の幅、カーブのきつさ、歩道と車道の分離状況などにより、6種類に色分けしたものであり、走りやすさをひと目で把握することができます。

さらに、「道路の走りやすさマップ」をベースとしたルート検索サイトとして、インターネットを活用した「道路の走りやすさナビ」を提供しています。ここでは、走りやすさを考慮した経路検索のみならず、沿道の「道の駅」、観光地等の情報、さらには経路検索結果に表示されている路線の写真なども見ることもできます。現在提供中のものは九州限定版ですが、これをご利用頂いた方から様々なご意見を募り、冒頭の対応カーナビの開発にも役立てたいと考えています。

（国土交通省道路局道路交通管理課高度道路交通システム推進室長　塚田幸広）

温室効果ガス削減、どうする日本

福田康夫首相は1月、スイスのダボスで開かれた「世界経済フォーラム」の年次総会（通称ダボス会議）に出席し、7月に日本で開く北海道洞爺湖サミットの議長として演説した。

ダボス会議で演説する福田首相

サミットでは地球環境問題が主要議題となるため、温暖化対策をテーマにポスト京都議定書（13年以降）の枠組みについて「温室効果ガスの排出削減には、国別総量目標を掲げて取り組みたい」と、数値目標設定を表明した。同時に「エネルギー効率を20年までに世界全体で30%上げることを、世界の共有目標にしよう」と訴えた。特に、産業別の削減方式「セクター別アプローチ」に関心が集まっている。

7月に洞爺湖サミット開催
問われる議長国責任

今年は京都議定書による、目標達成の約束期間がスタートし、地球温暖化問題の解決に世界先進各国が本格的に動き出す年。サミットの議長国だけに、京都議定書に続く13年以降の温室効果ガス削減への、日本の姿勢が問われている。

だが、日本の現状は温室効果ガス排出量が目標の6%削減とは逆に、6・4%増えているのが実情。福田首相も国会で「目標達成は相当に難しい」と認めながら、同時に「何としてでも達成する」と答弁している。

一方で、環境省と経済産業省は先に、京都議定書の目標達成計画の見直しを検討する合同審議会で「産業界の自主行動計画の強化など追加対策を進めれば目標達成は可能」と報告をまとめた。報告は「既存の対策だけでは10年度の排出量はCO_2換算で目標を2200万～3600万㌧上回る」と推計するが、追加対策実施で3700万㌧以上を排出削減出来るとして「京都議定書の目標達成は可能」とした。

このため首相官邸は2月、目標達成に向けた具体策などを議論する、有識者による「地球温暖化問題に関する懇談会」設置を決めた。国や企業に温室効果ガスの排出枠を設定して権利を売買する「排出権取引制度」の導入検討など、多様な提言をしてもらう。

メンバーには、勝俣恒久東京電力社長や三村明夫新日鉄社長ら、温室効果ガス排出量の多いエネルギー関係業界からも選ばれた。従来「排出削減対策が業界まかせでは目標達成は不可能」など、政府の姿勢に批判や疑問の声が出ている。

座長は前日本経団連会長の奥田碩トヨタ自動車相談役とみられ、懇談会の提言が注目される。

洞爺湖サミットが開かれるホテル

◆京都議定書◆

気候変動枠組み条約第3回締約国会議（地球温暖化防止京都会議＝1997年）で採択。温室効果ガスとされる二酸化炭素やメタンなど6種類の排出ガスを対象に08～12年の5年間に、先進国の排出量で法的拘束力のある数値目標を国ごとに設定。90年を基準年とし、日本6%、米国7%、EU8%など国別目標を定め、先進国全体で5%以上の削減を義務づけた。

排出量取引、クリーン開発メカニズムなど、国際協調の中で目標を達成する仕組みも導入。しかし、排出量世界1位で7%削減が目標の米国が01年に離脱、2位の中国は途上国扱いで削減義務を負わないなど問題があり、13年以後のポスト京都議定書の新たな枠組み作りが、世界の関心を集めている。

◆地球温暖化◆

地球の気温が上昇する現象。主な原因は温室効果ガスの増加といわれる。国連には世界各国の研究者による「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」があり「21世紀末に地球の気温は最大5・8度上昇する」と予測を発表した。南極の氷山融解などで海面が上昇、島国が水没したり、熱帯性の感染症が拡大、農業生産量の減少で食糧危機を招くなど、影響が予想される。

地域の宝もの

糠谷　真平
国民生活センター顧問

四万十の「市」と「町」

日本有数の清流で有名な四万十川は、高知県西北部に源を発ししばらく南下するが、やがて行く手を阻まれて西に向かい、蛇行を繰り返しながら進んだ後、愛媛県境に近い江川崎付近で再び向きを変え南下、旧中村市の先で太平洋に注ぐ四国屈指の大河である。

四万十川を初めて見たのは高校3年の春、大学入試が終わり合格発表までの間に四国一周旅行を計画した時だ。その頃土讃線と予讃線を結ぶ予土線は未完成で、窪川と江川崎間は国鉄バスがつないでいた。窪川からバスに乗ると、蛇行する川に沿ってくねくねした道を進んで行く。これが四万十川の上流部だが、当時は清流など珍しくないし、目的は江川崎から宇和島行きローカル線に乗ることだから興味もなかった。

四万十川が有名になってから、四万十観光の中心都市中村を二度ほど訪ねた。古くからの伝統ある落ち着いた街で、ここまで来ると四万十川も大河の趣がある。夕方、屋形船に乗っての遊覧は素晴らしいし、大きな川えびのプリプリした唐揚げは絶品だ。眼が赤いことから「あかめ」と呼ばれる大きな淡水魚も珍しい。

中村の街から遡って中流部まで行くと、四万十名物の沈下橋が幾つか見られる。沈下橋とは、橋の欄干がなく大雨のときに水が抵抗なく橋を乗り越えて流れるように作られた橋という。小川では欄干のない橋も珍しくないが、四万十川は中流部とはいえかなりの川幅だ。都市であれば親たちから子供が危険だから欄干を作れという意見が出るのでは、と余計な心配をしたものだ。

四万十の最近の話題は市町村合併に伴う地名問題だ。初めは四万十流域全市町村の合併を目指したが、最終的に旧中村市を中心とする中下流部は四万十市、上流部は四万十町という奇妙な形になった。

読売新聞の片岡正人氏が「市町村合併で地名を殺すな」という面白い本を書いており、感心しない地名の一つに挙げているが同感だ。私の経済企画庁時代の同僚が故郷の中村に帰り、中村市長から現在は四万十市長になっている。いずれ彼の意見も聞いてみたいと思っている。

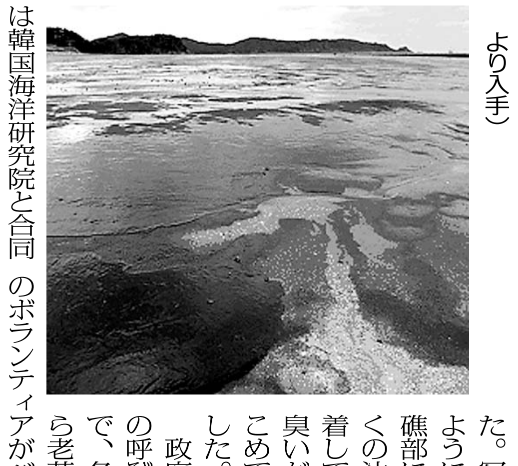
韓国　大量の油流出と深い愛国心

除去作業に100万人 ボランティア集結
原油輸入大国・日本に警鐘

海上への大規模な油流出事故が昨年暮れ、立て続けに起きました。11月11日にロシアの黒海とアゾフ海をつなぐケルチ海峡で、暴風雨のためタンカーから座礁し1000㌔㍑を超える油が漏れ、12月7日には韓国の泰安沖8㌔㍍で15万㌧級のタンカーとクレーン船が衝突、原油1万2000㌔㍑が流出したのです。

韓国で流出した油の量は、1997年に日本海・福井沖で発生したナホトカ号の2倍に及ぶ大規模なものです。当研究所は韓国海洋研究院と合同で調査団を編成し、12月20日から22日にかけて現地に赴きました。泰安付近は日本なら天橋立か熱海海岸といった風光明媚な白砂青松のリゾート地。海上であまり回収できず、多くの油が漂着してしまいました。

我が国は韓国政府の要請を受けて緊急援助隊を出動させ、世界各国も支援の手を差し伸べました。懸命な回収作業が進む中、現地での驚きと感服は、韓国民のボランティア活動でした。我々が現地を訪れた時は、発生から2週間近く経っていました。写真のように、岩礁部には多くの油が付着して油の臭いが立ちこめていました。


油が漂着した海岸（韓国海洋研究院より入手）

政府などの呼び掛けで、各地から老若男女のボランティアがバスを仕立てて現地に集結、総出で除去作業に取り組んでいました。発生から2カ月間で100万人（ナホトカ号は3カ月で28万人）を超えたということです。将来を背負う若者たちが、実際に雑巾などで岩に着いた油を一心不乱にふき取る姿から「自分たちの国土は自分たちで守り、磨き上げる」という国土愛がひしひしと伝わりました。

油流出による自然破壊の悲惨さと回収作業の甚大さを改めて目の当たりにし、原油輸入大国の我が国の危機管理体制の強化と、果敢に立ち向かった韓国国民の愛国心を強く感じた事故でした。

〝泰安の奇跡〟と呼ばれたボランティア活動

（独）港湾空港技術研究所　施工・制御技術部長　八尋　明彦

日本風景街道 ―輝く人たち― 3

渥美半島の菜の花浪漫街道

愛知県田原市

伊良湖岬灯台

伊良湖岬に漂着したヤシの実。民俗学者・柳田国男はこれを見て「海上の道」を着想し、島崎藤村は恋路ヶ浜をモチーフに「椰子の実」を書いた。黒潮が寄せ旅情あふれる渥美半島は愛知県の南端にあり、北に三河湾、南は太平洋に囲まれた温暖な地。幕末の先覚者、渡辺崋山ゆかりの城下町・田原市は、東海道の豊橋市付近から南西に伸びた半島の中央にあり、市域はほぼ半島全域に及ぶ。三河湾を一望できる蔵王山など、美しい自然に恵まれたここが日本風景街道登録の「渥美半島菜の花浪漫街道」である。

田原市環境部の渡辺澄子エコエネ推進室長は、登録の経過を「『たはらエコ・ガーデンシティ構想』とキーワードの『菜の花』『浪漫街道』を加味し、循環型社会の風景街道を目指した」と語る。「ここはアクセスが悪く海に囲まれ風が強い。地域の活性化は広域的に考えてきた。伊良湖岬などの観光資源と、縄文の吉胡貝塚や東大寺大仏殿の瓦を焼いた窯跡などの史跡を活かし、年間300万人の観光客を見込んでいる」と渡辺室長。

田原市にとって平成の大合併は大きな転換期となった。蔵王山頂に設置された風力発電装置は新生「エコ・ガーデンシティー」のランドマークだ。「恵まれた環境と自然を大切に、当たり前にできる都市作り、それがエコなのです」と渡辺室長は言う。

田原市の農業産出額は全国1位である。トヨタ自動車の工場や専用埠頭もあり、自動車関連企業約65社が進出、農工商がバランスよく発展している。市は「たはらエコ・ガーデンシティ構想」に基づき、7つのプロジェクトを進める。

▼電車やホテルでも「菜の花」キャンペーン

そのひとつが「菜の花エコ・プロジェクト」だ。収穫した菜種から油を搾り特産品化する。油カスは肥料や飼料に。廃食用油からBDF（バイオディーゼル燃料）を作り、スクールバスや公用車などに利用する。

エコエネ推進室計画推進係の横田浩一さん(32)は「エコと言っても悩みましたよ。どんなに気配りしても、市民の意識を変えるのは難しい」という。だが、市のキャンペーンにホテルや旅館が協力、料理に「菜の花」が使われ始めた。新豊橋―三河田原間を走る渥美線には黄色く塗った特別車両「なのはな」号が運行、バスも模様替えした。遊休農地も農業者中心に菜の花エコプロジェクトが動き出した。「公募選定でも、自力で工夫してきたからこそ意義があるのですね。行政だけで出来ることではない」が横田さんの実感だ。

“地域愛する”人々結集

遊休農地を菜の花畑に変えたNPO法人「田原菜の花エコネットワーク」の安田和司さん（右）と玉越弘志さん。左写真は（上から）①エコ・プロジェクトに取り組む横田浩一係長（左）と渡辺澄子室長②太陽熱利用の蓄電パネルが屋根に並ぶ田原市の住宅団地③ゴミを炭に変える「炭生館」

▼遊休農地を菜の花畑に

2005年12月、NPO法人「田原菜の花エコネットワーク」が発足。市は昨年9月、独自の地域資源を活かした原風景を保存しようと、地域住民やNPOと協力して「渥美半島菜の花浪漫街道パートナーシップ会議」を設立した。

「田原菜の花エコネットワーク」の副理事長、安田和司さん(68)と理事の玉越弘志さん(61)が、真っ黄色に咲き誇る菜の花畑で出迎えてくれた。褐色に日焼けした安田さんは「菜の花を植えようとNPOを立ち上げたのは、遊休農地をなんとかせねば、という思いからでした」と振り返る。

渥美半島では農業者の高齢化や担い手不足、農地条件の悪化などで遊休農地が増えている。農業委員会の平成18年度調査では、遊休面積は約473ヘクタール、農地の6・2%を占める。同委員会の委員である安田さんは、田原市が日本一の農業産出額にも関わらず離農者が増える現状を憂えてきた。

「遊休農地は雑草や雑木の繁茂、病害虫の発生、さらに荒廃が進むと有害鳥獣のすみかやゴミの不法投棄など、農業者に迷惑をかけ、農村景観や生活環境の悪化にもつながる深刻な問題です」

安田さんは栽培しやすく直蒔きできる菜の花に着目した。「自分でトラクターを出し、四苦八苦して花畑を育てました」。これを見て市も積極的に支援するようになった。「発想の転換が大事だった」という。息子はイチゴ観光農園を経営、自らはスナップエンドウやメロンを栽培する。

一般の人にも参加を呼びかけた。東京や名古屋でサラリーマンをした玉越さんもその一人。帰省のたび故郷に戻りたい、と思っていたから55歳で早期退社した。「少しで

も故郷のお役に立てば」と、積極的にNPOに加わった。「近趣近縁。人生の後半は会社社会の上下関係でなく気の合った同士、本来の人生を過ごしたい。残り少ない人生を楽しまなければ」と考えた。

▼通りの活性化、道路から8メートル後退

田原の城下町は500年の歴史を持つだけに、旧市内の街並みは複雑だ。その一画に整然とした街並みが開けた。旭町「はなとき通り」のカフェ「いとう屋」のギャラリーでは「菜の花」展が開かれていた。オーナーの伊藤明弘さん(54)は永らく通りの活性化を考えてきた。

85年3月、田原町は広域商業診断を実施。商店街が立ち上がり都市計画道路の整備（幅6メートルの道路を20メートルに拡幅）に合わせた商店街作りが始まった。当時の建設省はウォーキングトレイル事業と合わせ「旭町はなとき通り」の整備事業を行った。

店舗を後退させ、幅広い商店街作りに成功した旭町はなとき通り

「私たちは地域づくりが大事でその永続性を求めています。市がエコ・ガーデンシティー構想を考えていたこともあり5年がかりで地元を説得しました」。伊藤さんは菜の花を前に語った。

民有地部分を8・2メートル後退させ、店舗の建て替えを図りながら、空間や隣地境界部分に多目的広場を設けるなど、ゆとりある空間整備に挑戦。伊藤さんも思い切って自分の店を道路から8メートル奥に後退させ近隣にも呼びかけた。

整備前の道路幅員は6メートルで、車が駐車すると対面交通にも支障が出る状況だった。「私も350万円を個人負担しました。自分が切腹覚悟でやらないと人は動かない。町の活性化は切り口をどうするかですが、それだけでは行政は動かない」。

故郷を愛する伊藤さんの情熱が地域を動かした。この通りの英断は今、全国の商店街の注目を集めている。

私の道

渥美清さん13回忌 紳士でしたよ

柴又・高木屋大女将 石川光子さん

いしかわ・みつこ　1921年、東京・柴又帝釈天（題経寺）門前の団子店「高木屋」の3女として生まれる。子どもの頃から家業が面白く、養子を迎え跡取りに。映画「男はつらいよ」全48作（69～95年）のロケに協力、関係者との交流は今も続く。夫・源七さんの死去（97年）を機に店の切り盛りは息子夫婦に。8代目となる孫が修業中。

早いもので今年は渥美清さんの13回忌。店の椅子に腰掛け、柴又帝釈天の参道を眺めながら出番を待っていらした姿が目に浮かびます。「いらっしゃいませ、おなじみの高木屋のお団子です」と茶目っ気たっぷりに売り子をして下さったことも懐かしい思い出です。

映画「男はつらいよ」のロケ中、お化粧や衣装替えに座敷をお貸ししたのがご縁の始まり。皆さんが冷えたお弁当を食べるのを見て うちでお昼を用意することにしたんです。せめて温かい物を食べて下さいって。

「しっかり食べないと働けないよ」は祖母の口癖。従業員の賄いのついで、大した手間じゃありません。私、祖母譲りで世話好きなんですよ。

ロケ初日は総勢40人分、大ヒットを祈願してお赤飯と尾頭付き。二日目からは焼き魚や煮物、旬の小鉢、漬物など心づくしを約20人分。昔は近くに畑が残っていて、ワケギの酢みそ和えとか霜の下りたホウレンソウのごま和え、小松菜のみそ汁とできるだけ旬の地の野菜を味わっていただくよう努めました。

朝が早い時はおにぎりとみそ汁を。撮影が長引くと豚汁とお汁粉どっちがいいか聞いて夜11時過ぎに差し入れしたり。お刺し身、筑前煮、おでん、茶碗蒸し。あれこれ考えたメニューを山田洋次監督や渥美さんたちが、おいしいと召し上がって下さるのがうれしかった。私の生きがいでした。

完成した映画を見ると、どこかで聞いた台詞を「おばちゃん」が喋っていたり食卓に見覚えのあるおかずが並んでいたり。どの作品にも愛着があります。台本をいただいてますから、渥美さんのアドリブを楽しめるのも役得でした。渥美さんという方は折にふれうちの仏壇に手を合わせてくれる人。芸も見事ですが、奥ゆかしい立派な紳士です。

監督がお泊まりになった夜は、私どもとこたつを囲んでいろいろなお話をしたものです。主人（故・源七さん）がまた話好きで。晩年は体調がすぐれずロケの間中近くの生家に移ることもありましたが、兄嫁の作るおかゆが「うちで食べるよりおいしい」なんて笑ってました。

「寅さん」の舞台になるまで柴又帝釈天は田舎の小さな参詣場所でした。映画を偲んでいまだに大勢の方が来て下さいます。私どもはお団子の味でお応えするだけ。原料を吟味し、毎日使う量だけ粉を引き、丁寧に手作りして、残ったら惜しまず廃棄する。添加物で日持ちを長くしたり、冷凍して再利用するなんぞ「それをやっちゃぁあおしまいよ」。何といっても出来たてがおいしいんですから。

「女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム」開催

44団体約300人が熱い討論

「地域の人々の暮らしを守り よりよい環境作る」を視点に

みちづくり女性団体交流会議には約300人が参加した

全国の道づくり女性団体が一堂に集まる「全国みちづくり女性団体交流会議2007『女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム』」が1月末、東京・六本木ヒルズで開かれ、44団体約300人が熱い討論を繰り広げた。

5回目の今回は「地域の人々の暮らしを守るため」「快適に暮らすことができる環境に変えていくため」「よりよい暮らしの環境をつくるため」を視点に、道づくりについて学び、考え、議論するのが狙い。

主催の同フォーラム実行委員会を代表して中国・みちづくり女性会議会長の平木久恵さんが「国政の焦点になった道路特定財源問題はじめ、地域の道づくりにも様々な課題がある今日ですが、女性や子ども、お年寄りなど生活者の原点にかえり、手をつないで課題を解決しましょう」と挨拶した。

自称「自転車ツーキニスト」のTBS特集デスク疋田智さんが基調講話。「毎日12キロの自転車通勤は電車より15分早く、1年で17キロも減量し生活習慣病とも縁切り。マイカー処分で年70万円節約でき住宅ローンも完済した。欧州各国は都市では自転車活用で渋滞を解消。エコ重視で都市間は環境負荷の少ない高速道路を拡充しており、日本も見習うべきだ」と訴えた。

プロビーチバレープレーヤーの朝日健太郎さんも「世界を転戦し、景観やアートに配慮した各国の道づくりに興味を持ってカメラに収めている。日本は海洋国なのに道路と海岸のつながりが薄く残念だ。誰もが自由に出入りでき、足裏健康法にも通じる砂浜をスポーツや文化に活用しては」とユニークな道づくり・地域づくり論を展開した。

第2部は、参加者が揃いのハッピやユニフォーム姿で次々登場し、横断幕やプラカードを掲げたり、寸劇や紙芝居も入れたりと、工夫の2分間活動報告だ。

「産婦人科、小児科がなく遠くの病院に通う高速道路がどうしても必要。命の格差をなくして」（けせんロードネット女性の会＝岩手県）

「安全な道づくり相談会、意見交換会を定期的に開き、お年寄りや子どもへの注意喚起、事故多発地点改善に協力しています」（NPO・越のみちネットワーク女性会議＝新潟県）

「生涯住み続けられる安全・安心なまちを、と生活道路の危険度や公園・観光地トイレの防犯点検を展開中」（まちづくり安・安＝兵庫県）

「道路網未整備で過疎地は増える一方。7年運動しやっと起工式にこぎつけたら、道路特定財源の暫定税率廃止で高速道路新設抑制なんてあんまりョ」（「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会＝大分県）

第3部は、フォーラムの三つの視点に沿い「守りたい、変えたい、つくりたい！ 暮らしを支える道」をテーマに、トークセッション。

「常磐道を応援する女性の会」の西本由美子さん▽有限責任中間法人シーニックバイウェイ支援センターのかとうけいこさん▽「近畿元気！ 女性が語る道づくり・地域づくりフォーラム」の田中克子さんが登壇。

07年秋以来、26女性団体約520人と道路特定財源の暫定税率廃止・一般財源化に反対する総決起大会を開いたり、国会請願、100万人反対署名運動を進めたことなど報告した。

社会起業で再チャレンジ

パネルディスカッション

内閣官房・内閣府と特定非営利活動法人NPOサポートセンター主催のセミナー「社会起業で再チャレンジ」が昨年末、東京・千代田区の法政大学市ヶ谷キャンパスで開かれた（協力＝法政大学大学院NPOプラットフォーム研究所）。国と自治体がNPOなどと協働し8都市で開いた再チャレンジ地方セミナーの最後。西村明宏内閣府大臣政務官の「努力が報いられる公正な社会、暮らし方や学び方が複線化した社会を築こう」との挨拶を受け、基調報告や基調講演、第一線の社会起業家らのパネルディスカッションがあった。その概要を紹介する。

パネルディスカッション風景

パネリスト

原田　勝広氏（日本経済新聞編集委員）

谷津倉　智子氏（ファニービー株式会社代表取締役／NPO法人さなぎ達理事長）

渡邉　英夫氏（NPO法人障害者就労支援センターどんまい福祉工房理事長）

コーディネーター

藤村　博之氏（法政大学大学院イノベーションマネジメント研究科教授／法政大学キャリアセンター長）

「ちょっとした工夫と努力 大切な行政、地域との連携」

藤村　現場で、どのような社会起業を実践されていますか。

谷津倉　高齢化し生活保護受給が多くなった横浜市寿地区の簡易宿泊所居住者たちに、生活相談や職業訓練などをしてきました。まち全体の再生もと、行政や地域の人たちとごみ片付けや緑化に取り組む一方、ファニービーを設立、06年から簡易宿泊所の活性化を試みています。壊れたり汚れている空き部屋を直し、バックパッカーと呼ばれる若い外国人ツーリスト向けの低料金宿泊所として提供しています。近くの集客施設に通う日本の若者も含め、延べ6000人が利用し、まちの雰囲気も変わってきたと好評です。

藤村氏

原田氏

渡邉　お情けで買ってもらう製品しか作れず、低賃金の福祉作業所を改革したいと06年末、東京・杉並区内で知的障害者・精神障害者による引き売り式ケータリング事業を始めました。プロ調理師の指導を受け車内調理する手づくりパン、スープ、サラダ、カレー、クッキーが美味しいと各地で歓迎され、ふれあいの機会も増えました。商店街との連携も進め、厚生労働省のモデル事業に採用されました。

谷津倉氏

藤村　社会起業には困難がつき物ですが、乗り越える秘訣は？

原田　お二人の話も各地の先進例と共通で、行政や企業とのネットワーク活用が成功につながっています。壁に当たった時、大変だとひるんでしまうか、可能性を見出すか、センスが決め手になるようですね。

谷津倉　損したくないという簡易宿泊所オーナーのためらいで、宿泊希望通り部屋を増やせない悩みがありますが、意義を感じてくれるオーナー開拓に努めています。

渡邉氏

渡邉　福祉施設勤めのころ、新施設計画が地域の反対でつぶれたことがありましたが、今後の地域福祉のために、あえて住宅街でスタートしました。若者が生き生き働き、地域の人にきちんと挨拶し、お年寄りのごみ出しを手伝ったりする姿が、徐々に共感されるようになりました。

藤村　大がかりな装置でなくすぐできること、ちょっとした工夫や努力が社会起業家の特質ですね。

原田　チャリティーの利益を批判する人は今もいますが、社会起業の利益は目的でなく手段なのです。福祉の世界では、隠そう、奥に引っ込めておこうということが多いのですが、お二人のように堂々と表に出てきていただくと、問題に気付き応援する人も現れるものです。

藤村　今後の抱負、構想をお話しください。

谷津倉　ボランティアで手伝ってくれている若者たちが、この有意義な事業を職業にできるようにするのが当面の課題です。将来はこの町を女性、子ども、家族も楽しく暮らせるようにと願っています。

渡邉　経営的にはまだ厳しく、もっとビジネス感覚を磨かなければと痛感していますが、商店街との連携など、企業や行政のできない隙間を積極的に開拓し、社会のためになる働きがいを大切にしていきたいと思います。

「日本の社会起業の可能性」

日本経済新聞編集委員　原田　勝広氏

教育機会に恵まれないアジアの子らに3540カ所の図書館を建設した元マイクロソフト役員ジョン・ウッドさん、預かってもらえない病児の保育所を働く女性のために設立した元IT企業学生社長、駒崎弘樹さんは07年、ニューズウィーク誌の「世界を変える社会企業家100人」に選ばれた。

複雑でグローバルな取り組みが必要な貧困、環境問題などは行政、企業、NGO・NPOという三つのセクター間の壁も低くなり、協働事業や第4セクターといわれる社会起業の必要性が高まっている。

ガーナのココナッツバター輸出・販売に尽力、その収益でガーナの教育改善に役立てるフェアトレードを普及させたザ・ボディショップのアニタ・ロディックさんに続く人々が今、世界で増えている。

日本でも企業やNPOのセクターを超え、巧みなビジネス感覚やネットワーク力を駆使し、福祉サービスなどでイノベーションを起こそうという社会起業家の活躍が目立ち始め、新聞に連載した。ニートのための小説教室で雑誌やケータイ小説に採用される人を育てたNPO、お好み焼き店を経営し不登校生に接客や販売の楽しさを体得させている会社などが日本にも次々登場している。

社会企業家はまさに再チャレンジ向きなので、皆さんも大いに関心を持ち、バックアップしてほしい。

再チャレンジ支援策の最近の動向

内閣府再チャレンジ推進室　竹田　和彦氏

報告する竹田氏

2006年12月以来、政府全体で「再チャレンジ支援総合プラン」に取り組んでいる。

重点課題は①フリーター・ニート、多重債務者、事業失敗者のような長期デフレなどによる就職難、経済的困窮などの再チャレンジ②子育て女性、障害者、母子家庭の子ども等に対する機会の均等化③退職した団塊世代、学習意欲ある社会人、UJIターン希望者など、新たな暮らしを選べる複線型社会の実現を目指している。

10年までにフリーターをピーク時の03年より8割減の約174万人に▽15年に女性の労働力人口を05年比で25万人増の約1787万人に▽10年度までにハローワークで約22万人の障害者雇用を実現する、などが目標だ。

フリーターの常用雇用化などを進める国家公務員中途採用者選考試験や起業家への再チャレンジ支援融資・保証制度創設、テレワーク促進による在宅勤務の拡大、「人生二毛作」を普及促進する情報提供強化のほか、再チャレンジを民間も含め進めていくため、再チャレンジ支援寄付金への税制優遇も実施する。

日本道路建設業協会はマラソン大会などを開催し地域住民との交流・連携を大切にしています

安全、快適、環境にやさしい道路

明日の日本も必要としています

先人たちが営々と築き上げてきた美しく住みよい国土

次世代への豊かな継承発展は、現代に生きる私たちの責務です

内閣府調査に国民の声

大地震発生に備え 安全避難路整備を

社団法人日本道路建設業協会

内閣府が一昨年実施した『道路に関する世論調査』（全国の成人3000人対象）によりますと、大地震が発生した場合、住まいの近くにある道路について不安を感じるかとの問いに対し「不安がある」「やや不安がある」と訴える声は半数を超えました。

大地震発生に備える道路対策として「安全な避難路」「救急活動や救援物資等の輸送を確実に行うために必要な道路」の整備を求める答えがそれぞれ5割を超える高い比率でした。

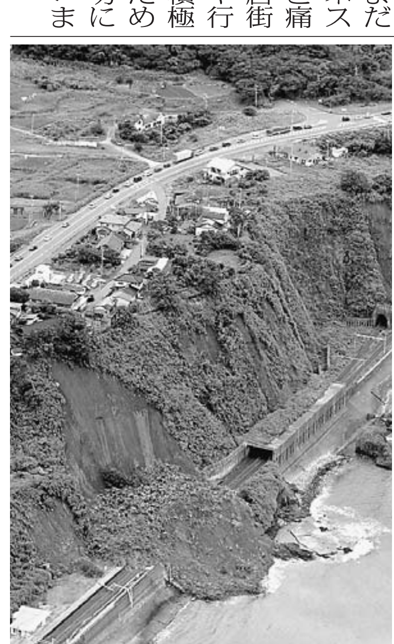
2004年10月、新潟県中越地震、昨年3月の能登半島地震に続き7月に新潟県中越沖地震が起き、家屋倒壊や道路陥没などの被害が相次ぎ、15人が死亡、3000人近くが負傷されました。

日本道路建設業協会本部・北陸支部は、国土交通省などの要請で国道8号、116号、北陸道の応急復旧に会員各社が分担して対応し、簡易トイレ設置や義捐金支出など、被災された方々の生活支援にも全力で取り組みました。

道路建設業協会は「中期ビジョン2005」に基き「道路の整備はわれわれが果たすべき次世代への責務」との共通認識を持ち▽道路整備とその維持管理の中心的役割を担う▽良い品質の道路を安く、安全に提供する▽防災対策や災害時の復旧支援等に積極的に取り組む、と誓っております。

また、魅力ある道づくりの一環として市民に親しまれる建設業を目指し、地域住民や学童に参加を求めた現場見学会、新設道路でのマラソン大会・ウオーキング大会などイベントも開催しています。

社団法人日本道路建設業協会


新潟県中越沖地震で土砂崩れが発生、JR信越線の線路をふさいだ（JR青海川駅。上は国道8号）＝新潟県柏崎市で2007年7月16日

再チャレンジ可能な社会へ

〜西村明宏・内閣府大臣政務官に聞く〜

多様な選択肢、必要に　地域課題も社会起業で対応

インタビューに答える西村大臣政務官

再チャレンジ担当の西村明宏・内閣府大臣政務官に聞いた。

――再チャレンジ出来る社会、新しい仕組みが望まれる時代です。

西村大臣政務官　再チャレンジ支援の目標は、一人一人が能力や持ち味を発揮し、努力が報われ、勝ち組負け組が固定せずに働き方や学び方、暮らし方が多様な社会を作ることです。誰でも再チャレンジ可能な社会を目指して機会均等のための支援を充実し、多様な社会に向けて選択肢を拡げることが大切でしょう。

――再チャレンジ支援はどう進めていますか。

西村大臣政務官　対象は再チャレンジしようとする「人」です。就職や経済的に困っているフリーターやニート、非正規労働者、多重債務者や事業に失敗した人、母子家庭や子育て中の女性、障害者や家庭環境に恵まれない子供たちもいます。多様な選択肢を望む団塊の世代や、学び直したい社会人、UJIターンを希望する人など、それぞれに施策を講じます。

――ご自身の持論もおありと思います。経験も踏まえお話しください。

西村大臣政務官　自民党の「団塊の世代PT（プロジェクトチーム）」の座長の時、団塊世代は元気で体力もやる気もあり、エネルギーが有り余っていると痛感しました。対価を求めるより「何かしたい」「働きたい」という気持ちがとても強い。このパワーを活用したい。

ライフスタイルの変化も見逃せません。ニートやフリーターを含め単身者が増えています。都心では若者、地方は高齢者。カレールーも家族用でなく一人分の商品が売れているそうですね。人と話す機会がなく、一人で寂しいという声も多い。

高知県にある町では中心市街地にお年寄りが集まれる場所を作っています。「鎮守の森」のように、人が集まる場所を作り、人と話せる機会を作っていくことが重要だと思いますね。

――社会起業とは何ですか。コミュニティビジネスを含め、社会起業に対するお考えは。

西村大臣政務官　身近な地域の課題を事業によって解決する。地域の社会問題を認識し、小さくても変革のためNPOやベンチャー企業を創造、組織化、経営することが必要です。

社会起業家はNPOや市民グループを通して働きかけることが多い。社会起業でソーシャル・ビジネス（社会事業）やコミュニティビジネスが行われ、社会が変わっていきます。

――社会起業と再チャレンジ支援は、どんな関係にありますか。

西村大臣政務官　支援の実施に社会起業は有力な手法になります。経済的に困っている人など、困難に直面する人たちの存在自体、地域の課題です。これらの解決には、社会起業で地域に即した対応が有効になります。

社会起業として事業を進める際、ニートやフリーター、母子家庭の母や子育て中の女性、団塊世代の活用などで活動の場が広がります。ニートの社会的な自立支援が、フリーターの雇用の場になる例もあり、積極的に支援していきます。

観光素材再発掘で地域活性化!!

倉敷で「ANTA」フォーラム　着地型旅行推進に期待

地元の豊かな観光素材を再発見し、地域経済の活性化を図ろう！―全国旅行業協会（ANTA）は1月、岡山県倉敷市で「第5回国内観光活性化フォーラム」を開いた。会員の中小旅行業者や旅館、国や自治体の観光行政担当者ら過去最高の1700人が参加。新たな観光素材の発掘で着地型旅行を推進し、国内観光の振興と地域活性化を図ろうと、シンポジウムやパネルディスカッションを行った。

始めに地元実行委員長の近藤幸二・全旅協岡山県支部長が開会の挨拶。シンポジウムは、国土交通省の花角英世観光事業課長が「最近の観光政策の動向―観光による地域の活性化を目指して」をテーマに基調講演。

花角課長は「小泉内閣以来、観光立国を掲げてビジット・ジャパン・キャンペーンを展開し観光庁設立を目指している。訪日する外国人の増加に比べ、海外旅行者の数は伸び悩んでいる。国民の宿泊観光旅行の回数も、宿泊数も低迷している」と現状を紹介。地方の活力なしに国の活力はないとして、住民が町に誇りを持つことによって地域の元気を取り戻そう、と強調した。

このため「人に来てもらい、滞在してもらうことが大切」と着地型旅行の進展に期待を表明し、宿泊と食事の分離・選択や地域マネーなど、工夫による地域密着型のニューツーリズムを提唱。

国も観光圏を整備し、旅行データベースを作るが、行政と民間、地域と地域、既存観光業者と他産業の業者が連携する中で、地域の魅力を高めることが必要、と訴えた。

倉敷市で開催されたANTAフォーラム

続いて、倉敷が世界に誇る大原美術館理事長の大原謙一郎倉敷商工会議所会頭が登壇、「生活・産業・文化と観光―倉敷と大原美術館のケーススタディ」の題で講演した。

大原美術館は、大原さんの祖父と児島虎次郎画伯が80年ほど前、「質の良い日本と世界の出合い」を生もう、と開設した日本最古参の私設美術館。大原さんは「今は第三の創業期。この町の家並みは歴史を形に残し、美術館は世界の心を伝える」と、その役割を説明。

交流会であいさつする全国旅行業協会の二階俊博会長

観光の意味と意義について「21世紀は文化が活きて働かなくてはならない。文化が働き、観光が働くためには、津々浦々の人が、美しい町や村を自己紹介し、その魅力と風格を伝えることが大切だ。それによって文化がつながり、広がり、結ばれる」と強調した。

さらに「美しい町で美しく暮らす中で地域を再発見する。知る楽しみと知られる喜びを広げていくことが重要。単に歴史の町で終わらず、歴史を踏まえた、生活の場でなければならない」と、持論を展開。

イベントについても「役人が主導する官製ではダメ。町衆がアイデアを出し『この指止まれ』で、NPOやボランティアから学生、様々な人が集まって創り上げるイベントが大事。そんなイベントを日本中で掘り起こせば、その魅力と風格を世界に伝えることができる」と力説した。

この後「新たな観光振興を担う旅行業」をテーマに、着地型ツアーなどニューツーリズムを実践する各地の代表4人をパネリストに、熱のこもった討論を展開した。

東京・銀座でユビキタス実験

専用端末で〝スイスイ銀ブラ〟

道案内やグルメ情報　ICタグ活用、分かりやすく

東京・銀座で行われたユビキタス実験

「新しい『銀ブラ』スタイルを体験しませんか！」。東京・銀座で3月1日まで「東京ユビキタス計画・銀座」の実証実験が行われ、人気を集めた。希望者に専用の携帯情報端末（UC＝ユビキタス・コミュニケータ）を通じ、道案内やグルメ情報などを4カ国語で流す試みで、約1500人が参加した。

ICタグ類を活用し観光名所や文化施設、商品などさまざまな情報を〝いつでも、どこでも、だれにも〟分かりやすく伝える「ユビキタス社会」づくりは、各地で試行されている。銀座の実験も、東京都と国土交通省が全銀座会の協力を得て進めている「東京ユビキタス計画」の一環だ。

銀座4丁目交差点を中心に銀座通りと晴海通りの街路、交通施設、店舗などにICタグ類を埋め込み、UC（一部携帯電話も可）を近づけると、現在地情報、希望目的地の方向、観光やまちの便利情報、参加44店舗の商品やサービスなどを画像、文字、音声で伝えてくれる。

銀座では昨年度も同時期に実証実験が行われ好評だったが、情報インフラとサービス内容などコンテンツをバージョンアップして、より多くの人の参加と評価を求める、という。

05年度の最初の実証実験地、上野動物園では通年での実施となり、年間約2万人の入園者がパンダの習性など詳しい解説を、無料貸し出しのUCで楽しんでいる。

オリンピック招致を目指す東京都は、06年度策定の長期計画「10年後の東京」で、年間1000万人の外国人旅行客も不自由なく東京見物できるユニバーサルデザイン都市とし、銀座はじめ10カ所でユビキタス技術等を活用したまちづくりを宣言している。

《おことわり》国土交通省道路局長の「みちつうしん」は、今回は都合によりお休みさせていただきます。

駅ナカ記念館12選

改札を出ずに買い物や食事が出来る鉄道の「駅ナカ」が話題となっているが、道の駅にも立ち寄る人々を魅了する駅ナカがある。駅の施設内や駅に併設されている記念館や美術館、文学館、歴史館がそれ。全国に数多く点在する「駅ナカ記念館」の中からオススメの12駅を特集する。

（小見出しは記念館名、所在地、道の駅名、駅の電話番号の順。文末のカッコ内は高速道路ＩＣから道の駅への主なルート）

❶宮尾登美子文学記念館　北海道伊達市
だて歴史の杜　☎0142・25・5567

広大な総合公園「だて歴史の杜」の中に、直木賞作家の宮尾登美子さんゆかりの品々を集めた文学記念館がある。

ＮＨＫ大河ドラマ「篤姫」の原作者でもある宮尾さんは1999年から2004年にかけて同市内の別荘で「宮尾本平家物語」を執筆した。記念館はこれにちなんだ。愛用のルーペや筆箱、生原稿などを展示している。入館料は大人260円、小中学生130円。

公園内には駅のほかに、伊達の開拓史を学べる開拓記念館、藍染め体験ができる藍工房、常時見学可能な刀鍛冶工房もある。（道央道伊達ＩＣからR37）

❷青函トンネル記念館　青森県外ヶ浜町
みんまや　☎0174・38・2301

1988（昭和63）年に開業した青函トンネルの青森側入り口に設けられた道の駅。記念館では、パネルや映像で青函トンネルの構想から完成までの歴史を紹介している。

地下には工事のために掘られた路線がケーブルカー「青函トンネル竜飛斜坑線」として50分間隔で運行されており、海底下の作業坑道の一部が見学できる。

同線は全長約800㍍で、「日本一短い民間鉄道」。入館料はケーブルカー料金を含め大人1300円、小人650円。毎年４月25日から11月10日までの営業で、冬季は休業。（東北道青森ＩＣからR339）

❸斎藤清美術館　福島県柳津町
会津柳津　☎0241・42・2324

斎藤清（1907～1997）は福島県会津坂下町生まれの版画家で、「会津の冬」などの作品で世界的な評価を受けている。柳津の名誉町民、95年に文化功労者となった。

道の駅は隣接の斎藤清美術館、奥会津９町村の物産・観光の情報を発信する「清柳苑」憩の館と一体整備されている。

美術館では町が所蔵する斎藤作品850点の中から約90点を、３カ月ごとに入れ替えながら展示している。入館料は一般500円、小学生200円。月曜休館。（磐越道会津坂下ＩＣからR252）

❹とちぎ明治の森記念館　栃木県那須塩原市
明治の森・黒磯　☎0287・63・0399

外相、駐米大使などを歴任した明治時代の外交官、青木周蔵が那須野が原に1889（明治21）年に建築した洋風

別荘を解体、復元し記念館とした。

蔦（つた）型及びウロコ型の人造スレート板貼りで覆われた外壁が美しい洋館。旧青木家那須別邸として国指定重要文化財となっている。設計者はドイツ建築技術をもたらした松ヶ崎萬長（まつがさきつむなが）である。

館内は、ベッド、ストーブなどの家具類が見られるほか、那須野が原の開拓の歴史が写真パネルで紹介されている。入館料は大人200円、小中学生100円。月曜休館。（東北道那須ＩＣから黒磯田島線）

❺諸橋轍次記念館　新潟県三条市
漢学の里しただ　☎0256・47・2208

「大漢和辞典」の編纂者で文化勲章受章者の諸橋轍次（もろはしてつじ、1883～1982）が旧下田村の出身であることから整備された。

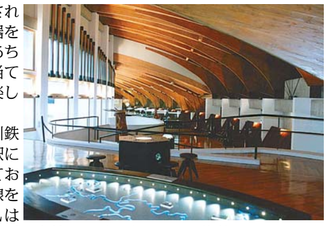
記念館には遺品のほか、諸橋の生涯を紹介するスライドやビデオ、漢字クイズのコーナーなどがある。また庭には諸橋博士の生家が移築されている。

駅のレストラン「庭月庵悟空」は、諸橋が漢学を志したきっかけが「西遊記」であることから名づけられた。日本と中国の風情が調和した漢庭園、和庭園も造成されている。入館料大人500円、小中学生200円。月曜休館。（北陸道三条燕ＩＣからR289）

❻音の体験ミュージアム　静岡県川根本町
奥大井音戯（おとぎ）の郷　☎0547・58・2021

「音」をテーマにした体験ミュージアム。

館内には世界最大のオルゴールや大スクリーンのシアター、木の実や素焼きの植木鉢を利用した楽器製作の工房など、音にまつわるさまざまな施設がある。入館者は貸し出された聴診器を館内のあちこちに当てながら楽しむ。



大井川鉄道千頭駅に隣接しており、同線を走るＳＬは「南アルプス山麓にこだまするＳＬの汽笛」として、日本の音風景100選に認定された。入館料は大人500円、小中学生300円、65歳以上400円。火曜休館。（東名高速静岡ＩＣまたは袋井ＩＣから川根寸又峡線）

❼東山魁夷 心の旅路館　岐阜県中津川市
賤母（しずも）　☎0573・75・5255

近代日本画壇を代表する風景画家として知られる東山魁夷（1908～99）。

美術学校時代の1925（大正15）年、長野県山口村（現岐阜県中津川市）でのキャンプ旅行の途中、激しい夕立に遭い、地元の農家に一泊。その際の温かいもてなしに感謝して、94年に約700点の版画、リトグラフを山口村に寄贈した。

道の駅隣接の心の旅路館は３カ月ごとにテーマを設けて25点ずつ、入れ替えて展示している。入館料は310円、小中学生無料。（中央道中津川ＩＣからR19）

❽おおみや昆虫館　三重県大紀町
奥伊勢木つつ木館　☎0598・86・3229

駅に隣接するおおみや昆虫館には、世界最大のカブトムシ、ヘルクレスオオカブトやペルー原産の青い蝶、ヘレナモルフォチョウなど世界各地の珍しい昆虫の標本が展示されている。

標本点数は2000種9000点。標本のほか、クイズコーナーや大型モニターなどで昆虫の生態が楽しく学べるようになっている。

また道の駅では、地場産業である木工製品の展示、即売、創作を行っている。昆虫館（☎0598・86・3940）の入館料は大人300円、小中学生200円、幼児100円。（紀勢道大宮大台ＩＣからR42）

❾やくの木と漆の館　☎0773・38・9226　京都府福知山市
農匠の郷やくの

福知山市夜久野地区は、奈良時代から知られる丹波漆の中心。漆の木から漆液をとる漆かき職人はいまや全国に60人しかいないが、うち６人が同地区で活動している。

漆の館は伝統的な漆産業を広く知ってもらおうとつくられた。館内には、お椀、はし、お盆、花入れなど日用品から芸術作品が展示されている。

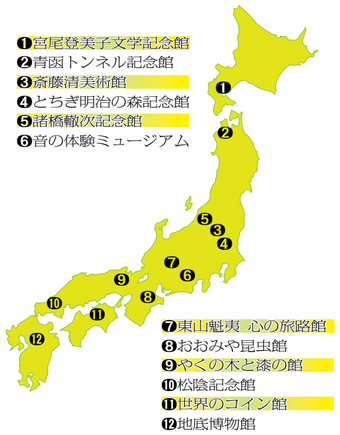
漆かきの道具や資料を集めた資料室、工房があり、工房では漆の絵付け体験もできる。入館料は大人300円。小中学生無料。水曜休館。（舞鶴道福知山ＩＣからR９）

❿松陰記念館　山口県萩市
萩往還公園　☎0838・22・9889

明治維新の元勲を育てた吉田松陰の生誕160年事業の一環で整備された記念館。

館内には、市内に残る生家の一部を復元。「松陰の一生」「松陰の生きた時代」「松陰と旅」などのテーマをパネルで紹介、書簡のレプリカなどを展示している。松下村塾の講義室の様子をロウ人形で再現したジオラマや塾生を写した貴重な写真もある。

庭内には高杉晋作、山縣有朋、伊藤博文ら10人の群像も配置されている。入場無料。周辺には、松下村塾、木戸孝允誕生地、高杉晋作誕生地もある。（中国道小郡ＩＣからＲ９、R262経由萩秋芳線）



⓫世界のコイン館　香川県観音寺市
ことひき　☎0875・24・2150

市内の海岸沿いにある琴弾公園は、世界最大の砂絵「寛永通宝」で知られる。白砂で描かれた南北122㍍、東西90㍍、周囲345㍍の巨大な貨幣は、1633（寛永９）年、藩主の領内巡視にあたって歓迎目的で作られたという。

これにちなんだのが駅内の世界のコイン館。日本の貨幣や世界の貨幣2000点が展示されている。

広場にある高さ5・5㍍のからくり時計では、定刻になると世界各国の人形があいさつに登場する。入館料は大人200円、小中学生100円。月曜休館。（高松道大野原ＩＣから丸亀詫間豊浜線）

⓬地底博物館　大分県日田市
鯛生（たいお）金山　☎0973・56・5316

1898（明治31）年に採掘が開始され、1972（昭和47）年の閉山までに金43㌧、銀約160㌧を産出した鯛生金山は、有名な佐渡の金山を上回り、東洋一とうたわれた。

閉山後の金山跡を生かして駅を整備。総延長110㌔の坑道の一部800㍍は博物館として公開され、坑道には人形、模型で操業当時の様子がリアルに再現されている。幸運を呼ぶとされる雄・雌の黄金鯛も展示されているが、盗難騒ぎがあったため、現在はレプリカ。入館料は大人1000円、中高生800円、小学生500円。

また、駅のほぼ中央には砂金採り体験ができるコーナーもある（有料）。（大分道日田ＩＣからR442）

「明石海峡大橋」開通10周年記念　ハイブリッドカー de ゆっくラリー

■期間：平成20年１月12日（土）、13日（日）開催
■主催：淡路市商工会・ハイブリッドカー de ゆっくラリー実行委員会
■後援：兵庫県淡路県民局・淡路市・淡路市観光協会・全国商工会連合会
兵庫県商工会連合会・（株）トヨタレンタリース神戸

明石海峡大橋架橋10周年記念事業
ハイブリッドカー、de ゆっくラリー
国生みの島・癒しの旅

ハイブリッドカー44台が勢ぞろい

淡路とエコを体感・大満足!!

プリウス44台が勢ぞろい、さあ出発！

エコに対しての強い関心

ラリーを企画したのは淡路市商工会と市内の公共団体や観光関連業界有志で組織する実行委員会で、兵庫県や淡路市のほか㈱トヨタレンタリース兵庫、同神戸などが後援した。「明石海峡大橋架橋は島の経済や社会に大きな影響を及ぼした。10周年を機に考えてみると、ここの一番いい点は環境の豊かさです。ハイブリッド車によるエコツアーを盛り上げれば、地域をさらに活性化させられるに違いないと、衆議一決でした」と、実行委員長の写真店経営木村幸一さんは語った。

ハイブリッド車はトヨタが世界に先駆けて開発したエンジンとモーターを併せ持つ自動車。加速時は力の強いモーターで、速度が上がればエンジンで最適走行。ガソリン車より汚染物質の排出量は少なく、ガソリン走行時のエネルギーも利用して充電、停車時はアイドリングもストップするので、燃費性能も極めて優れている。

兵庫県ホームページの観光情報サイトなどに昨秋「島外の2人グループが対象。ハイブリッド車は用意します。淡路島の魅力、お楽しみポイントをラリー感覚でゆっくり見て触れて感じてください。参加費1組1万円」とPR。数日で40組が応募し、その後も問い合わせ申し込みが相次ぎ、キャンセル待ちも10数組出る人気だった。

実行委は半年前から、トヨタレンタリース兵庫舞子店を通じてプリウス借り受けを予約したが、兵庫県内各店に2、3台しかなく揃えるのに苦労したという。

「ハイブリッド車をこんなに集めたイベントは世界初だそうです」と木村さん。昨年まで東浦町商工会会長として、地域起こしに知恵と情熱を注いできた“観光カリスマ”的人物だ。

幅広い年齢層から44組

1月12日。44組の参加者は、淡路市多賀の市ふるさとセンターでコース説明などを受け、近くの伊弉諾（いざなぎ）神宮へ。淡路島は、いざなぎ・いざなみの二神が住みよい国づくりを願い、最初に緑豊かで豊穣の土地と生命力あふれる海を持つ島を造られた、という「国生み神話」を宮司から聴き、神楽奉納、参拝。2コースに分かれ、香年産日本一の淡路島が「香りの島」と呼ばれる伝承発祥地の「枯木神社」▽源義経との悲恋で知られる静御前の墓▽ふるさと創生交付金で購入した1億円の金塊展示もある「静の里公園」など、10カ所のポイント巡りへ順次出発した。

交通安全と地球に優しい環境を祈り、伊弉諾神宮で神楽奉納

エコと環境の発見

「ゆっくラリー」とうたうだけに、香りのテーマパーク「香りの館パルシェ」では、好きな香料を自由に詰め合わせるにおい袋づくり体験や、色とりどりの線香展示が何本あるか当てるクイズ。「道の駅あわじ」では、市商工会女性部員からしょうが湯接待を受け、明石海峡大橋を背景に記念撮影。淡路の生んだ三洋電機創業者の菩提寺でもある「本福寺」では、建築家安藤忠雄氏の大胆な設計で海外にも知られる、蓮池地下の本堂を拝観しながら、工事の苦労などについて住職と語り合った。月の名所として和歌にも登場する「絵島」や阪神・淡路大震災を引き起こした野島断層を保存している「北淡震災記念公園」などを経て、夕闇迫る「明石海峡公園」に全車無事、ゴールインした。

「道の駅あわじ」で

お好みのにおい袋作りを体験

■明石海峡大橋
1998年４月に技術の粋を集めて完成、開通した全長3911㍍の世界最長のつり橋。２本の主塔間の長さ1991㍍、主塔の高さ297㍍も世界一。開通で神戸ー洲本間は１時間、神戸ー徳島間も１時間40分と、従来のフェリーに比べ、半分程度に短縮され、産業振興や経済効果に期待が寄せられている。

地球にやさしいエコカー。人気のハイブリッド車だけのユニークなラリーが1月、兵庫県淡路島を舞台に開かれた。本州と淡路島を結ぶ世界最長のつり橋「明石海峡大橋」の開通10周年を記念して淡路市商工会の実行委員会が主催した「ハイブリッドカー de ゆっくラリー」だ。

「豊かな自然に恵まれた島巡りは環境にやさしいハイブリッド車で」の呼びかけに約40組が応募。ハイブリッド車だけのラリーは世界初の試みとか。参加者は国生み神話のふるさとで島民と交流し、車のエコ性能を満喫した。

ハイブリッドカーイベントでは世界初の試み

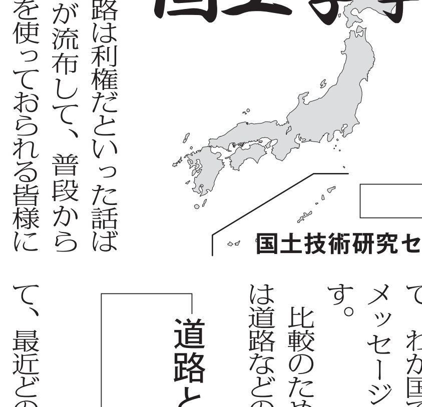
旅を終えて～魅力の再発見

選手宣誓をした宝塚市の川口邦明（23）早佳恵（23）さん夫妻は「ハイブリッド車は期待通り快適でした。温かいもてなしと美味しい食事、島の魅力を再発見しました」。京都府八幡市の中谷耕二（59）久美子（52）さん夫妻も「エコツアーに興味があったので十分満足」。徳島市の浜田武夫（66）克子（62）さん夫妻も「橋ができてからは通り過ぎてばかりでしたが、期待以上の2日間。こんなに魅力があって羨ましいなど、口々にハイブリッド車の快適性を語り、島の魅力やラリー参加に大喜び。淡路市商工会は「ゆっくラリー」の継続を検討している。

■トヨタプリウス
プリウスは世界初の量産ハイブリッド車として1997年発売されました。発進はモーターで。通常走行は燃費効率を高めるエンジンとモーターで最適制御。そして力強い加速が必要な時は、高出力モーターとエンジンがフルパワー。さらに、減速時は回生ブレーキで、バッテリーを充電します。世界トップレベルの圧倒的な低燃費35.5km/l（10.15モード）と低エミッションを実現しています。（車両価格帯：2,268,000円～3,255,000円）
（URL：http://toyota.jp）

地元ボランティアが絵島の由来を説明

国土学事始め



大石久和
国土技術研究センター理事長

道路とは何のための社会資本か
今こそ、議論を

道路は利権だといった話ばかりが流布して、普段から道路を使っておられる皆様には、ずいぶん不信感をお持ちになったり、不愉快な思いをもたれた方も多いのではないか、と心配しています。

道路の整備は、地域の土地利用を大きく変えたり、産業の配置を決めたりする力を持っていますから、政治の実現過程と言っても過言ではありません。しかし、道路の本来の役割・機能について、わが国では、政治からのメッセージも少ないようです。

比較のために、EUの首脳は道路などのインフラについて、最近どのような発言をしているのか、見てみましょう。いくつかの例をご紹介したいと思います。

はじめに、ブレア前イギリス首相のコメントです。「優れた交通システムは、経済および社会の繁栄に欠くことのできないものである。（中略）わが国の交通システムは、何十年にもわたって過少投資の状態が続いてきた（2004年10月）」。

このコメントは、1990年代における交通や住宅などのインフラ整備に対する過少投資が問題を生んだ、という認識に基づくものでした。

こうして最近では、公共投資額を大幅に増額しています。

次にイタリアのプロディ前首相の演説を紹介しましょう。「インフラストラクチャーへの投資を怠っては、グローバル化に伴う競争のなかで、イタリアは生き残ることができなくなる（2006年3月）」。

これを受けてイタリアでは、07年から始まる交通基盤施設のための大きな投資計画を策定しました。

フランスでは、コペ予算担当大臣の演説です。「05年に交通関係社会資本整備基金を設置したが、その額を引き続き増額する（2007年6月）」。

わが国よりも、相当に豊かな交通インフラストックを持っているはずのこれらの国々。何かずいぶん議論の様子が違うな、とお感じになりませんか。

いま、利権議論を超えて、道路とは本来何のための社会資本なのか、を踏まえた議論こそ、なければならない、と考えます。

世界一長い焼き鳥の記録保持者は目下、山口県長門市（20・71メートル）である。「でも、ウチこそ元祖」と身を乗り出すのが福島県川俣町。阿武隈山系に抱かれた、のどかなこの町にある道の駅「川俣」は、カラフルな絹織物などをセールスポイントにした、かわいらしい駅だ。

ファイト！ 道の駅の挑戦

道の駅「川俣」
シャモの焼き鳥自慢 元祖世界一はウチ

【道の駅「川俣」】
■経営形態＝川俣町直営■営業時間と定休日＝施設や店、季節によって違うが、概ね午前9時半～午後5時（年末年始休み）▽蕎麦六は午前11時半～午後2時（月曜と年末年始休み）■駐車＝普通80台、障害者用1台、大型3台■東北自動車道福島西IC、同二本松ICから各30分■〒960-1406、福島県伊達郡川俣町鶴沢東13－1（☎024・566・5253）

銘品館シルクピアと「からりこ館」（右奥）

JR福島駅（福島市）から南東へ伸びる国道114号は、県の真ん中の中通りと東の太平洋を結ぶ幹線の一つである。同駅から20分も走ると、川俣町に入る。同国道に面した道の駅「川俣」はいやでも目に飛び込んでくる。愛称を「オアシスinシルクロード」という。

「いらっしゃいませ」

四つに分かれた駅施設のひとつ「銘品館シルクピア」のドアを開けると、若い女性店員の元気な声が迎えてくれた。

カラフルな絹織物ずらり

店はさほど広くないが、明るいデザインのスカーフやネクタイなど絹織物がずらりと並ぶ。むろん、名物の川俣シャモも。2階の蕎麦六で味わえる。クワの茶などにも人気が集まる。

江戸時代、シャモは絹織物でリッチになった〝絹長者〟のレジャー（闘鶏）だったという。戦後、米国種と掛け合わせ、高タンパク・低カロリーの健康食品になり、今や貴重な地場商品。その肉と特別の竹串を使い、「世界一の焼き鳥を作ろうと」と2004年に川俣町で10メートルのロング焼き鳥を完成させたのを皮切りに、和歌山県日高川町、長門市などが長さで覇を競う。折れたら失格だが、記録は年々伸びている。丸出しのライバル意識がのぞく。

銘品館を見てから、機織機などを集めた「おりもの展示館」、コースターなら小学生でも簡易織機で30分で織れる「からりこ館」を歩くのも楽しい。織物の歴史をバッチリとマスターできる。4月6日までは「ひな人形展」でにぎわう。

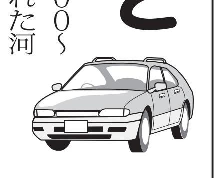
さらに、地元農産物を売る「愛菜館」も重宝この上ない。

この4施設は1988年から順次整備され、94年に県内2番目の「道の駅」となった。「ずっと町直営でやってきた。全国でも珍しいはず」と駅長の松本康弘さん。当然、町職員である。約30人の従業員が働いており、訪れる客は年間約30万人に。福島市などからのリピーターも多い。

「とくに2003年から駐車場整備以後、客足はぐんと伸びた」（松本さん）。99年度約1億円だった売上額は、07年度にはほぼ倍増する見込みという。

中南米音楽好きの住民の提唱でアルゼンチン・コスキン市の祭りをヒントに始まり、今や秋の風物詩になった「コスキン・エン・ハポン」など全国的にも知られるイベントをもつ川俣町だが、「4施設を回遊式にしてもっと見やすくしたり、体験コーナーを一層充実させていきたい」（松本さん）と意欲的である。

なるほど ロード



暮らしを支える「浪漫八橋」

愛媛県大洲市河辺。標高800～1000メートルの山また山に囲まれた河辺地区には八つの屋根付きの橋・屋形橋が集中し、「浪漫八橋」と呼ばれている。

浪漫八橋は御幸の橋、三嶋橋、豊年橋、帯江橋、秋滝橋、龍神橋、ふれあい橋、龍王橋。一番古い御幸の橋（長さ8・3メートル）＝写真＝は1773（安永2）年に架けられ、ケヤキ材、屋根はスギ皮葺きで、クギは一本も使われていない。

浪漫八橋は通行するだけの橋ではなく、昔は農作物、農機具の一時的な保管場所として利用され、現在は一部の橋に椅子が置かれ、住民がおしゃべりを楽しむ場になっている。

その独特な景観が観光ポイントになり、地元で推進している「わらじで歩こう坂本龍馬脱藩の道」イベントに浪漫八橋と脱藩の道を組み合わせたコースが入っている。龍馬は御幸の橋をわたり海を目指したとされている。

屋形橋は全国の神社仏閣でよくお目にかかる。代表的な屋形橋としては京都・修学院離宮のシンボルである千歳橋、香川県琴平町・金刀比羅宮の鞘橋、栃木県足利市・ばんな寺の反橋などがある。橋と通行人を風雨から守り、また高貴な人専用の通路ともなっている。

第16号読者アンケート結果：『道の駅のトイレに関して』

「ドライブ旅行も道の駅のおかげでトイレの心配も解消され、本当に助かってます」（愛知県・女性）、「トイレ休憩や飲食休憩に大切な施設だと思いました」（富山県・男性）と、ドライブを快適なものにしている『道の駅のトイレ』について、今回は聞いてみた。

清潔でキレイなトイレを希望 ・・・

まず、トイレに対する希望は「清潔なトイレ」を望む意見が44.9％でもっとも多く、次いで「きれい・美しいトイレ」32.7％、「広いトイレ」15.3％、「明るいトイレ」14.3％、「ウォシュレットのトイレ」10.2％となっており、当然のことながら、『清潔で美しいトイレ。広々としたトイレ。（千葉県・男性・69歳・無職）』が望まれている。

オススメのトイレのある「道の駅」は ・・・

オススメの「道の駅」として、具体的に回答された道の駅数は88駅で、オススメの「道の駅」としてあげられたのは「湯の川」（島根県）の8票、「津和野温泉 なごみの里」（島根県）の6票、「あ・ら・伊達な道の駅」（宮城県）の5票がやや多かったが、ある特定の駅に集中することなく、分散した結果であった。

オススメの理由としては「清潔、掃除がゆきとどいている」「広くて明るい」「数が多い」等の理由があげられている。

オススメできない「道の駅」は ・・・

□行ってみて利用させていただいた中ではとくにない。
（新潟県・男性・60歳・無職）

など、駅名を記入していない人が圧倒的に多く、具体的にあげられた駅名は43駅で「オススメできる駅」の半分以下の数であり、こちらも特定の道の駅に集中することはなかった。

自由回答を見ると ・・・

□道の駅をよく利用します。トイレがどこもきれいで助かります。地域の情報や特産品、スタンプなど楽しいです。
（神奈川県・女性・23歳・会社員）

□道の駅に寄ると、トイレがいつもきれいで気持ちよく使用させてもらっています。（愛知県・女性・48歳・職業運転手）

などの、道の駅のトイレを積極的に評価している意見が最も多かったが、一方では、少数であるが

□最近は道の駅が増えているすね。トイレのキタナイ道の駅にはいつも立ち寄らないようにしているんす。
（宮崎県・女性・33歳・主婦）

という意見もあり、「道の駅」のトイレは全体的にはよくなっているが、中にはまだ汚い所もあるので、清潔さだけは保って欲しいというのが利用者の本音のようだ。

□トイレをもう少し利用者がきれいに使うようアイデアを考えてほしい。（山口県・男性・33歳・公務員）

□客、我々の利用するトイレ等、最近だらしない人が多いので、もっと一人ひとりが気をつけて使用することを、友達にも呼びかけし、また、貼り紙等大きい文字で書いてください。
（岩手県・女性・55歳・主婦）

と使用者側のマナーについて指摘する意見も見られた。

□トイレ休憩、休息、食事、地域の物産と人々との交流など色々な目的で利用させて頂き、今では無くてはならない存在で有難く思っています。だから、余計トイレの存在感が気になります。清潔で美しいトイレを用意下さった道の駅の駅員さんには感謝の気持ちを持って又訪れる日を楽しみにしています。（大阪府・男性・69歳・無職）

こんにちは

道の駅　不知火（しらぬい）
森下　鎮雄支配人（65）
＝熊本県宇城市不知火町永尾1910－1

熊本市と熊本県八代市のほぼ中間、熊本市から天草に向かう国道266号沿いに開設して12年。地元不知火生まれの果物「デコポン」は開駅から当駅のイチオシである。

デコポンは1972年、お隣り長崎県の旧農水省果樹試験場で清見にポンカンを交配して誕生した品種。不知火町で試作、改良を重ねた末、90年ごろ商品化にこぎつけ、熊本県果実連合会が「デコポン」の名を商標登録して世に送り出した。名前の由来は、へたの部分、つまりお「デコ」が「ポン」と飛び出ているからとか、デコ（凸）に「ポンカン」のポンを掛け合わせたからとも言われる。同じ柑橘（かんきつ）類の親のポンカンと比べ、確かにおでこの突出が際立っている。

デコポン人気　さわやか甘味と酸味

その後、愛媛県の「ヒメポン」、鹿児島県の「ラ・ミポリン」、広島県の「キヨポン」などの異名で同種のものが出回ったので、熊本県果実連が音頭を取って「糖度13度以上、酸度1.0以下」を「デコポン」とすることで全国統一した。

生産量も味も宇城市が日本一だと思う。発祥地の不知火産は特に風味がよく、皮が柔らかいので簡単に手でむける。実の袋も薄くて種がないため食べやすい。ビタミンと食物繊維に富み、さわやかにブレンドされた甘味と酸味が人気の秘訣となっている。

収穫は11月下旬から1月下旬。低温貯蔵の時間をかけるほど糖度が増し酸味が落ちるので、食べ頃に合わせて12月～5月に販売している。

物産館ではデコポンを使った加工品も扱っている。原料を山梨県に送り醸造してもらった限定オリジナルの「デコポンワイン」（720ミリリットル1500円）、熊本県球磨郡の地元メーカーに造ってもらった甘口の「デカポンリキュール」（焼酎、720ミリリットル1300円）。

不知火は本来、毎年8月下旬から9月上旬の旧暦8月1日、午前零時～午前3時ごろの数時間だけ出現する神秘の火、「不知火」で有名である。不知火海の沖合いに初め一つ二つ見えていた火が突然左右に別れ、水平線上に連なったり集まったり明滅したり、さらに上下で踊り合ったり、千変万化した挙げ句、夜明け前にすうっと消える。日本書紀の古代から現代までさまざまな形でロマンたっぷりに語られてきた。今も「不知火」の魅力は不変で、見物客が絶えません。

話題の道の駅

おがわまち

埼玉県のほぼ中央に位置し、四方を秩父山系に囲まれ、水がきれいで緑豊かな盆地にある比企郡小川町。かつて鎌倉から上州（今の群馬県）に通じる鎌倉街道の要衝の地に当たり、道の駅に登録されてすでに15年と比較的古いこともあって、「おがわまち」では「手すき和紙」に代表されるように、歴史に彩られた物語の中で地元の物産と体験を味わうことができる。

関越自動車道を嵐山小川ICで降り、県道11号（熊谷小川秩父線）を通って、旧国道254号を走ること約10分。左手に「埼玉伝統工芸会館」の案内と一緒に「道の駅おがわまち」の表示が目に飛び込んでくる。東京都心からでも1時間半ほどのドライブだ。

駐車スペースに向かう右手の建物の看板いわく「和紙のふるさとへようこそ」。ここが手すき和紙の体験ができる「埼玉伝統工芸会館」だ。さっそく中へ。

小川和紙の名は全国に知られているが、中でも丈夫で素朴な風合いが持ち味の和紙、細川紙（ほそかわし）は国の重要無形文化財に指定されている。

目指すは和紙工房。室内にでんと備わる湯船、いやすき舟。コウゾとのり（糊料）をたっぷり含んだ水が人の腰の位置まで張ってある。これに竹で編んだすだれ、つまりすき板を浸し、紙料をすくい取る。体験者のすき板はB4サイズ。どろっとした紙料を平均的な厚さにそろえるのがコツ。すき上げたら紙床に移す。水気を十分吸っているうちに、持参の生花や葉、糸などを自分流にデザインして配置する。

ちなみに無地の薄手の一枚紙が一番安く210円、花葉入りのポストカード（1セット8枚）と色紙（1セット2枚）はそれぞれ840円、1050円。配送料金は別途必要だ。

作業時間は無地の一枚紙だと2～3分で済ます人もいれば、飾る花に凝れば30～40分かける人もいるという。運がよければ伝統工芸士、島野元彦さん（77）の実演を見学しながら指導も受けられる。この体験和紙はコーゾをカセイ（苛性）ソーダとさらし粉の漂白剤で煮ているので白色が映えているが、本来の細川紙はたきぎ（薪）の灰や土壁の石灰を使うので生成り色が特徴だ、と島野さんは話す。

近接する「物産館」では和紙を使った原稿用紙、便せん、色紙、短冊、半紙、さらに人形などの置物も買い求められる。

◆道の駅　おがわまち
埼玉県比企郡小川町大字小川1220▽開館時間9時半～17時（入館は16時半まで）、月曜日と祝日の翌日が休館 ☎0493・72・1220▽埼玉伝統工芸会館の入館料は大人300円、小中学生150円。予約・問い合わせも同じ電話番号。

「道の駅の情報」についてのアンケート

Q1.　「道の駅」では、色々な情報を発信していますが、あなたはどのような情報を利用していますか？（いくつでも）
①道路・交通情報　②周辺地域の情報　③周辺地図　④特産品等の情報　⑤災害等の情報　⑥医療機関の情報　⑦天気情報　⑧近隣の道の駅情報　⑨イベント情報　⑩その他（　　　　）

Q2.　最もよく利用しているのはどのような情報ですか？（一つだけ）
①道路・交通情報　②周辺地域の情報　③周辺地図　④特産品等の情報　⑤災害等の情報　⑥医療機関の情報　⑦天気情報　⑧近隣の道の駅情報　⑨イベント情報　⑩その他（　　　　）

Q3.　今後、更に充実させて欲しいと思うのは、どのような情報ですか？
①道路・交通情報　②周辺地域の情報　③周辺地図　④特産品等の情報　⑤災害等の情報　⑥医療機関の情報　⑦天気情報　⑧近隣の道の駅情報　⑨イベント情報　⑩その他（　　　　）

Q4.　あなたは道の駅でどのようにして情報を得ていますか？
①駅長・スタッフや案内人から　②案内板・掲示板等　③検索できる情報端末　④TV・ビデオ放映　⑤パンフレット等の無料印刷物　⑥新聞等無料の出版物　⑦展示物　⑧地元の利用者から　⑨その他（　　　　）

Q5.　今後、充実させて欲しいものはどれですか？
①駅長・スタッフや案内人から　②案内板・掲示板等　③検索できる情報端末　④TV・ビデオ放映　⑤パンフレット等の無料印刷物　⑥新聞等無料の出版物　⑦展示物　⑧地元の利用者から　⑨その他（　　　　）

Q6.　道の駅が行っている情報発信について、ご希望やご意見などお気づきになったことがありましたら、どのようなことでも結構ですのでご記入ください。
（　　　　）

Q7.　この新聞はどこの道の駅で入手しましたか？

ホームページ（http://www.route-press21st.jp）

応募方法	ご回答は回答用紙に記入し、枠に沿って切り抜き、はがき等に貼付し投函ください。ホームページからも回答できます。
締切日	平成20年3月31日
送付先	〒105-0001　東京都港区虎ノ門4-1-1　虎ノ門パストラル内　NPO法人　人と道研究会「読者アンケート係」宛

道21世紀新聞では、毎号「人と道」に関する読者のご意見を募集し、人と道のあり方を共に考えるコーナーを設けています。

第17号は『道の駅の情報発信に関するアンケート』を実施します。お寄せいただいたご意見は、道21世紀新聞でご報告させていただくほか、行政や「道の駅」関連諸団体にも提供し、今後の「道の駅」ならびに周辺地域活性化に供する資料として活用いただくことを働きかけます。

ご回答はすべて統計的に処理し、結果のみを公表し、個人を特定できるデータを外部に開示することは一切いたしませんので、どしどし遠慮ないご意見をお寄せください。このアンケートはホームページからもご回答いただけます。

なお、今回のアンケート回答者の中から抽選で30名様に記念品を贈ります。

「人と道」を考えるアンケート

ご意見をお寄せください！

第17号『道の駅の情報発信に関するアンケート』回答用紙

Q1：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩その他（　　　　）
Q2：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩その他（　　　　）
Q3：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩その他（　　　　）
Q4：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨その他（　　　　）
Q5：①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨その他（　　　　）
Q6：（　　　　）
Q7：a）　　　県　b）（駅名）＿＿＿＿
お名前：＿＿＿＿（フリガナ：　　　　）
郵便番号：〒
ご住所：
お電話番号：　　（　　）
性　別：男・女　年齢：　　歳　職業：＿＿＿＿
通信欄（その他ご意見等がありましたらご記入下さい）

グリーン・ツーリズム・ネットワーク

宮城県大崎市鳴子で2007年末、うれしいニュースに接した。中山間地域の冷酷な条件でも育つ〝希望の米〟が、誕生したのである。その名は「ゆきむすび」。古川農業試験所が育種した新品種「東北181号」を、地域活性化の切り札として見いだし、07年に試作した米が、正式に宮城県の奨励品種に認定されたのである。

人・心・地域をつなぐ
希望の米「ゆきむすび」誕生

鳴子は、温泉地として名高い観光地である。しかし、山間地域を多く抱え、米価の低落と耕作条件の困難性から、農業生産の維持が危ぶまれた。

転機は3年前に遡る。第2回全国グリーン・ツーリズム・ネットワーク宮城鳴子大会が、この地で開催された。全国から

農家・旅館・住民・行政…
米プロジェクト展開
「冷めても味が落ちない」と完売

宮城県大崎市
鳴子地区

好評！「ゆきむすび」で作ったおにぎり

応援者も参加：棚田での収穫風景

多くの実践者が集い、交流を通した地域活性化や農業・農村の多面的な価値の創造を目指す大会宣言が採択された。

これを契機に、グリーン・ツーリズムの基本である、農業の基盤を確かなものにするため、基幹的作物である米の生産・販売を多角的に展開する「米プロジェクト」が開始された。

その検討は、米の生産費保障、容器の工夫、料理法の開拓と多方面にわたり、農家はもちろん旅館関係者、住民、行政など、多方面からの参加があった。

その中で、中山間地域の不利な条件を克服する耐冷品種として白羽の矢が立ったのが「東北181号」であった。試作米の評価は非常に高く、もち米に近い粘りがあり、冷めても味が落ちない。

地元の温泉組合でも積極的に地場産米として購入し、07年産米は既に完売という人気を呼んだ。販売価格は、1俵(60㌔グラム）当たり2万4000円と、高品質米といわれる米に匹敵する価格である。

今年はさらに生産面積を広げ、地元の消費者を大切にしながら、鳴子を訪れる人々への提供も始めたい、と夢が膨らむ。

この「ゆきむすび」プロジェクトの意義は、劣悪な条件を克服するために多くの人々がつながり、その知恵と技術と支援、理解によって、都市と農村、農村内の集落間、そして米に関わる異文化間の絆が、まさに「結ばれた」ことにある。

国民の米離れと国際競争の激化によって、米価は低落を極め、大規模農家でさえも離農の憂き目を見る人が少なくない。

食料自給率の低下や、農業後継者難、都市と地方の格差が問題化している中で、市場原理を超える人間的な交流原理によって、「ゆきむすび」への夢が広がっているのだ。食の安全・安心が叫ばれる今日、地産地消の機運の高まりとも相俟って、期待が膨らむのは当然の成り行きである。

中山間地域の不利を克服
新種で『作る人』と「食べる人」結ぶ

消費地に遠く、生産規模が小さく、そして労働力が高齢化している中山間地域。「農業経済学」的には条件不利とされるこの地だが、「農村社会学」的には条件有利性も持っている。

都市にない、農村独自の景観や自然環境が豊かで、小さくても温もりが感じられる安心・安全の農産物があり、心豊かな人生経験を有する人々が住む村々が、そこにはある。グリーン・ツーリズムにとっては、絶好の感動交流舞台なのである。

雪深い鳴子の地で、多くの人々の熱い思いで誕生した「ゆきむすび」。

グリーン・ツーリズム宮城鳴子大会

多くの人々の思いが結集！（昨年12月の交流感謝祭）

契機に地域活性化に取り組み

尊い人命のように、人々を結ぶ崇高な価値を秘めたこの米に「命」を吹き込み、その「命」をいただき「心ある」人々の人生が豊かになることを、心から祈念したい。

世相が暗いものになりつつある今日、新たな年の門出にふさわしい希望の米が、次世代の命につながるよう、多様な関係性の構築を目指したい。

人間の根源的価値である命と心の保全。今こそその価値再生に向けた、地に足の付いた実践を、それぞれの自己実現の糧として行いたいものである。

「書を捨て、野に出よう！　そして命を育もう！」。

（日本グリーン・ツーリズム・ネットワークセンター代表理事　東洋大学教授・青木辰司）

5月下旬、残雪の中の田植え

米プロジェクトの生産者を訪れ、農業の現状への思いを伝える大学生

ハロハロ 8

国土交通省技監　谷口 博昭

国土と歴史文化の継承

昨秋、日光砂防を見る機会がありました。北側一雄・前国土交通大臣が富山の立山砂防を視察、幸田文の著作『崩れ』という名文を読まれ、砂防の重要性を強調されていました。

男体山は海抜2500㍍を少し下回る山で、砂防堰堤は1100㍍にあります。1974年（昭和49年）から8年かけてかさ上げするまでは非常に小さなダムで、河口の被害もありました。下からセメントを運び、付近の石を基にした自然景観豊かな堰堤です。当初計画した高さは400～500㍍ですが、それでは災害を防げないと、1100㍍まで高くするため、工事用道路を作り立派な砂防堰堤を築きました。完成以来大きな災害はないそうです。

工事用道路を使わずに行ける手前の砂防堰堤は開放し、見てもらえるようになっています。私は1100㍍の所を見て、ここがたびたび土砂被害を受けた地域で、家康を祀った東照宮も堰堤で守られているのだ、と肌感覚で実感できました。

ヨーロッパと日本は文化の違いもありますが、自然条件の厳しさの違いもある、と思います。ヨーロッパは、山が高く厳しいから、平地に城壁を築いたシティに住んでいます。

わが国は、温暖で山里に住みやすい半面、地震もあるなど厳しい面は多々あり「脆弱国土」と言われます。しかし、その地域に住むことで、地域が培ってきた地域文化や歴史なども継承されると思うのです。

都市と地方の地域格差が問題になっています。過疎で老人世帯が多い「限界集落」などの問題があります。同時に、山里や中山間地域といわれる所を一定レベルで保全することで、日本の自然環境が守られると考えています。

「ふるさとニッポン倶楽部」は、「都市と田舎の交流」を促進する会員参加型事業です。食の安全、人の絆、そして、子供たちに残したい自然や伝統が日本にはまだたくさんあります。古き良き日本の原風景を参加される方ご自身の価値観と感性で再発見・再評価して、食、コミュニティ、健康、教育、環境、文化保存などをテーマに新しいライフスタイルをふるさとの方々と一緒に企画・実行していく新しい試みです。グリーンネットワーク㈱（岐阜県大垣市ソフトピア内）が、同倶楽部事務局を担当しております。

食のプロジェクト　山形県鶴岡市「穂波街道」

寺のプロジェクト　山梨県大月市「長応寺」

健康・教育のプロジェクト　静岡県伊東市「錬堂塾」

食・原木栽培へのこだわり　岐阜県「しいたけブラザーズ」

携帯電話用車載ハンズフリーセット等を活用した、「ふるさと情報提供（試験）サービス」がいよいよスタート!!

携帯電話1人1台のユビキタス時代です。ただし、携帯電話を持っていても、自然と人情豊かなふるさとに着いてからは、地域情報入手が十分とは言えません。『ふるさとニッポン倶楽部』は、趣旨に賛同いただき事前登録いただいた生産者や地域の方々の情報を、会員の方々に会報誌やニュースレター、コールセンター等でご案内する計画です。いよいよ一部地域で試験サービスを開始致します。

ふるさとにはクルマで行かれる方が多いのですが、運転中の携帯電話使用は法律で禁止されております。そのため、事務局としては、その第一弾として運転中の方のために高品質ハンズフリー電話装置をお奨めしております。新車の高性能ナビシステムにはすでにハンズフリー機能が搭載されていますが、一般の方々はまだのようです。安全で快適なドライブによる交流をこの商品で是非実現してください。また、現在、新しい観光スタイルとして日本のふるさとを訪れる外国人の方々が急増しております。『ふるさとニッポン倶楽部』は、外国からのお客様に対して、地元の方々とのコミュニケーションがスムーズになることで、日本のふるさとファンになっていただきたいため、中国語、韓国語、英語などの携帯電話による通訳サービスも現在、開発準備中です。ご期待下さい。

『ふるさとニッポン倶楽部』推奨商品（001）

安全運転に最適なソリューション！本格派携帯電話用車載ハンズフリー UC-500

携帯電話出荷台数はすでに1億台を超え「どこでも通話可能なメディア」として広く普及していますが、一方で携帯電話による弊害がいまだ取りざたされています。特に、自動車の運転中の使用において「注意散漫・片手運転」等による事故が多発しており、その危険性が指摘されています。そのような背景から・・・

平成16年11月1日より、道路交通関連法案の改正で運転中の携帯電話使用の罰則が強化されました。罰金（最高）50,000円、普通車の罰金6,000円・減点1点です。ご注意を！

★UC-500は、簡単装着なだけでなく、ハウリングがしないなどその性能が高く評価され、中国最大の通訳・翻訳会社「万国通翻訳北京有限公司」と業務提携し、2008年8月の北京オリンピック開催期間中、通訳サービス付で北京市内のタクシーに装着されることになりました!!

連携事業及びUC-500をお奨めする分野：タクシー、運送関連企業、レンタカー等・・・

本件は、携帯電話用車載ハンズフリーセットUC-500を活用した、経済産業省新連携対策補助金（連携体構築支援事業）による、新しいふるさと情報提供（試験）サービスです。『ふるさとニッポン倶楽部』事業の一環で、企画推進・実証試験されております。本件及び連携事業にご興味ご関心のある事業者の方は下記連絡先までお問合せ下さい。また、本商品についてご興味のある方も是非お問合せ下さい。

■お問合せ・連絡先
☎:03-3294-6470　Fax:03-3294-6453
『ふるさとニッポン倶楽部』東京事務所
（グリーンネットワーク㈱：担当:名嘉山）

本事業は、㈱許斐（PanComm事業本部）と『ふるさとニッポン倶楽部』事務局（グリーンネットワーク㈱）が連携体となって、平成19年度経済産業省 新連携対策補助金（連携体構築支援事業）によりご支援ご指導をいただいております。

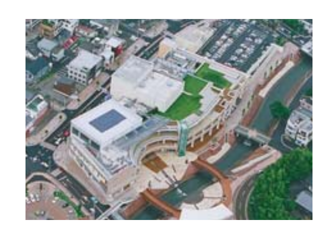
日本全国の街を元気にしたい。URがサポートしています。

駅周辺に新たな賑わいづくり
「沼津駅北口（静岡県）」

北に富士山を仰ぎ、南に駿河湾を臨む沼津。旧国鉄跡地を活用して、公共施設の整備、拠点商業施設の誘致等により、駅周辺の賑わいの輪が広がっています。駅前広場はユニバーサルデザインにも配慮し、暮らしやすく、快適なまちづくりを進めています。

地方都市の生活・経済・交流の拠点形成
「リナシティかのや（鹿児島県）」

大隅半島の真ん中、鹿屋。中心市街地に多様な交流と憩いの場を整備し、安全で快適な都市空間の形成と街の賑わいを再創出。地方公共団体、民間事業者等の方々と連携を図り、地域の特性を生かしたまちづくりに積極的に取り組んでいます。



読者の声

★仲介役を期待

この欄や読者アンケートには、とても貴重な提言があり、本紙には実現のための仲介的役割を期待しています。政治家の方々にもぜひ読んでいただき、良いアイデアについては、その実現に努力してほしいと思います。（宮崎市　無職・66歳）

★郷土を活かす

本紙16号「ハロハロ地方の個性活かし」を読み、ひとりうなずきました。私の住む地区では人口減少・高齢化が進み、これといった産業（特産品）もありません。自慢できるのは都会の人には味わえない、おいしい水、空気、食物で、これらを活かす道はないかと考えています。（島根県川本町　主婦・61歳）

★「旅の目的」に

道の駅は、当初の「旅を快適にするための補助施設」の役割から、利用者、駅運営者、周辺住民らの努力で「旅の目的」になるまで進化したと思います。さらに利用しやくするため、本紙の記事やコラムは運転者必読です。（三重県阿山町　主婦・38歳）

★少し寂しいな

ETCを付けて2年。料金所スルーで時間短縮になりますが、一つ〝マイナス（?）〟が—。東京へでかけると首都高に入るときに料金所の係員の方に道を確認していました。でもETCでは対話はなく、道は自分で探索。ちょっと味気ない気がします。（秋田市　パート・40歳）

★駅長目指す！

本紙「こんにちは」の欄は、各地の道の駅で、駅長さんたちが活躍している様子を伝えてくれます。女性駅長も多いようです。読んでいると、私もなってみたい！という夢がふくらんできます。（愛知県小牧市　会社員・29歳）

★タイヤの行方

本紙前号の「廃タイヤを道路舗装に」を読んでなるほどと思いました。車社会で常に生じる古タイヤのリサイクルは、大変重要なことです。今後も産学官が力を合わせて研究を続けてほしいものです。（三重県松阪市　無職・66歳）

★行ってみたい

道の駅「おばあちゃん市・山岡」（岐阜県恵那市）の記事を読み、ぜひ行きたいと思いました。名前も気になりますが、ご高齢で元気に働いておられる職員の方々に会って、パワーを頂きたいのです！おじいちゃんパワーも女性に負けず、頑張ってサポートしてほしいなあと思います。（宮崎県高千穂町　販売員・28歳）

★地域も活性化

「おばあちゃん市・山岡」での彼女たちの活躍を知り、うれしくなりました。おばあちゃんの料理は、かっこうはよくないけれど、素材のよさを生かした体にいいものが多く、私は大好きです。元気なお年寄りが地域も活性化させている——こんな道の駅に感動を覚えました。（福島市　公務員・44歳）

降り積もった雪のもとに咲くヤエカンコウ（東京都日野市で）

★せめて分煙を

公共施設での禁煙が進んでいる中で、残念ながら分煙もできていない道の駅がありました。気管の弱い方はほんとうに困っています。道の駅はなんでも「日本一」ぐらいの意識を持って運営してほしいものです。（広島県尾道市　主婦・60歳）

★高速道路を！

福岡から夫の実家のある宮崎県延岡に帰省した際、高速道路がある福岡—熊本間は1時間弱、しかし熊本—延岡間は3時間かかりました。熊本—延岡の方が少し長いだけなのに3倍も。高速道路のネットワークを整備して、地域間が円滑に移動できることを望みます。（福岡県粕屋町　主婦・29歳）

★農地を考える

各地を巡っていると、休耕田が目に付き、日本の農地は荒廃のまま放置されているように感じます。食糧自給率が先進国の中で低い今、将来が心配です。代替エネルギーのために作物を作るとかいわれますが、もったいない気がします。（宇都宮市　無職・70歳）

★会社の仲間と

会社の仲間5人で初めて遠出のドライブにでかけました。道の駅を実際に利用したのも初めて。こんなに盛りだくさんの情報でドライバーを迎えてくれるなんて、思ってもいませんでした。冬でも地元の農産物などがズラリ。これからは道の駅を目当てにでかけようねと、話が盛り上がりました。（愛知県蒲郡市　会社員・31歳）

★子供用便器を

先日、家族で近くの道の駅へ。2歳と5カ月の子供がパパとおしっこに行ったのですが、子供用がなく、ちょっと不便だったそうです。5カ月の子供もいますが、おむつ換えのシートが女子トイレにあったらいいのに、と思いました。（大阪市　主婦・35歳）

★孫に教えられ

家族で道の駅に行ったときのことです。「ゴミを捨てておいで」と幼稚園の孫に言ったところ、「ゴミは持って帰るの」とたしなめられてしまいました。「歳をえて　孫にマナーを　教えられ」（岡山県津山市　教委嘱託・78歳）

★障害者との旅

東北6県の道の駅を完走しました。身体障害者の方と一緒のドライブでしたが、ハンディキャップを持つ方々にやさしくない構造の駅もけっこうあったようです。（秋田県大仙市　無職・65歳）

★必要な整備を

地域にとって、まだまだ道路整備が必要です。都会には、田舎に新規の道路は不要と言う人がいますが、それは部外者の暴論だと私は考えています。（新潟県関川村　会社員・36歳）

★「お互いさま」

道の駅でのマナーについて、読者アンケートが掲載されていました。私は、マナーについては社会全体が悪くなっていると考えています。とても悲しいことです。「お互いさま」「ありがとう」「お陰さま」の気持ちをみんなで取り戻しましょう。（千葉県習志野市　無職・65歳）

★川柳をどうぞ

前号の投書「ETCレーンと一般車線との区別をもっと早くから分かるように」という指摘、私も全く同感です。定年後の夫婦ドライブで川柳ひとつ。「ドライブの　一服感だよ　道21」（福島県伊達市　無職・65歳）

◆お便り募集

このコーナーでは、道の駅をはじめ、農家レストランや、道路などに関する読者の皆様のさまざまな声を紹介していきます。

お便りはハガキで〒105－0001　東京都港区虎ノ門4－1－1　虎ノ門パストラル内　NPO法人　人と道研究会「第17号読者の声係」宛にお寄せください。

また読者専用のメールBOX（dokusya@route-press 21 st.jp）もあります。お便りのほか、写真の投稿も大歓迎です。採用分には記念品をプレゼントします。

おもしろ万葉集

奈良　正

真木の葉の　萎ふ背の山　忍ばずて
我が越えゆけば　木の葉知りけむ
（万葉集・巻三・二九一番）

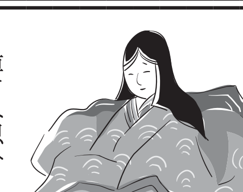
真木の葉が萎れている背の山よ。大和に残した妻が思われてならないが、辛抱して私が越えてゆくので、真木の葉が私の心に感応して、あの様に萎れているのだろう。

×××

真木は立派な木。桧の美称。萎ふは、桧の下向きの枝付き状態を、元気のない様子と見取った心情表現語で、「知りけむ」に繋ぐ。作者・小田事主は、公務で旅立つ——川を渡り、山を越えるごとに、いとしい妻から遠ざかる——しきりに思われるも我慢・辛抱して旅する。山の名は、「背の山」。そして「夫」。

「草木に言問ふ」万葉びとたち

感応する葉に、活力・元気をもらう——。万葉人は、単純・素朴に、しかも、利口に現実克服をするのだ。



我が夫子に　我が恋ひをれば　我が宿の
草さへ思ひ　うら枯れにけり（二四六五番）

私があの人に恋い焦がれていると、我が家の草までが、私の患う心に倣ってぐんなりとしてしまったナア。

×××

草までが女主人の心を察知して、感応・同化している姿を——人間と自然との交感・交流の世界を唱っている。室町時代の金春禅竹の能作品「芭蕉」は、植物の芭蕉が、有情の女となり活動する物語で、非情のモノが有情世界への参入を語っている。

「草木に言問ふ」古代人は、自然を尊び敬い、その摂理に随って生きたのである。人間は自然に包括される存在——一元論自然観は東洋人の産物である。二極対立の西洋の二元論ではなかったのだ!!思考回路の修正や如何？

（学校法人北川学園理事・万葉研究家）

平成21年度
塾生募集中

■ 登録申込書の請求：最寄りの塾または下記ウェブサイトにご請求下さい。FAXでご請求の方は「大工育成塾　道21係」と明記して下さい。

TEL/FAX
東京塾　03-3504-6604/03-3508-4777
名古屋塾　052-238-5626/052-238-5628
大阪塾　06-6252-6151/06-6252-5201
福岡塾　092-477-5561/092-477-5505

次世代に先達の技を伝えたい。

国土交通省補助プロジェクト　教室講義と現場修業
大工育成塾
www.hic.or.jp/daiku/

国土交通省所管　財団法人　住宅産業研修財団　〒105-0001　東京都港区虎ノ門1－1－21　新虎ノ門実業会館2階

ぷれぜんとコーナー

▼応募方法

●プレゼント希望の方は希望商品番号（1～3のうち1点）を記入し、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞を手に入れた場所⑨今号で一番良かった記事⑩その他のご意見・ご感想をはがきに明記し、〒105-0001東京都港区虎ノ門4-1-1　虎ノ門パストラル内　NPO法人　人と道研究会「17号プレゼント係」宛、3月31日必着でお送りください。発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

①「醗酵ウコン粒」を10名様に

今、話題のクルクミン含有量の豊富なウコン（秋ウコン）を原料に、ミネラル豊富なサトウキビの糖蜜と乳酸菌を使った独自の発酵技術で生まれた発酵ウコン。おいしく、飲みやすくなって、さらにミネラル分アップ。

これが、新時代のウコン。沖縄の豊かな自然とめぐみ先進バイオ技術がやさしく育んだ長寿の島のヘルシーな発酵ウコンです。

250粒入（￥2940）

問い合わせ先：（株）琉球バイオリソース開発（ホームページ http://www.RBR.co.jp/）

②「国宝　薬師寺　展」招待券をペア10組に

東京国立博物館・平成館（東京都台東区）で3月25日から6月8日まで。平城遷都1300年を記念して開催。日本仏教彫刻の最高傑作のひとつとして知られる金堂の日光・月光菩薩立像（国宝）がそろって寺外で初めて公開されます。

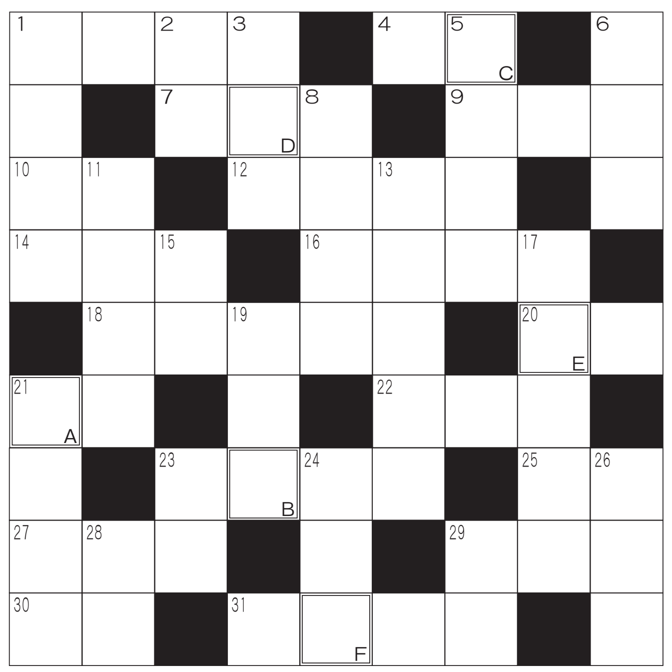
日本人の心の故郷ともいうべき「まほろば」奈良の都。その中で最も古い薬師寺の歴史と美のエッセンスをお届けするこの展覧会は、空前絶後といっても過言ではない質の高さを誇るものです。

③おつまみ海苔を10名様に

創業嘉永2年。海苔ひとすじの山本海苔店。明治2年には初めて味附海苔を考案しました。その味を現代風にアレンジし2枚の味附海苔でごま・うめ・玄米などの具材をサンドし短冊型に仕上げた「おつまみ海苔」。お子様のおやつや、スナック、お酒のおつまみなどに、ご家族の皆様でお楽しみください。

提供：株式会社山本海苔店
お問合せ：お客様センター ℡0120-380261
http://www.yamamoto-noriten.co.jp

クロスワード　人と道パズル



パズル制作・構成：Zero Page

★タテの鍵

1、横浜・横須賀・川崎のある県は
2、パパが父ならママは？
3、連続ドラマは毎回、○○が気になります
5、梅の名産地です
6、国内最南端にあるJRAの競馬場といえば？
8、お近くですね
11、かつてココには国技館がありました
13、あっという間なんです
15、○○ビールを注文。グラスは人数分持ってきてね
17、「○○○○○のかほり」
19、○○○が高い！
21、サザンビーチ○○○○
23、ペットボトルに入ってた飲み物が○○になったからサービスエリアで補充しなきゃ！
24、「この土地は私のものです！」地主が○○○を主張する
26、柚子でもなければ酢橘でもない
28、白○○ハッキリしましょう
29、エッフェル○○はフランスのパリにあります

★ヨコの鍵

1、みなとみらい21の街区○○○○状況を知りたい！
4、ルートプレスは「道の○○」で入手することができます
7、8月の陰暦は？
9、香川県はここにあります
10、名画はコレに入れて飾りましょう
12、お酒は飲んじゃダメですよ！
14、埼玉県蕨市の「蕨」何と読む？
16、軽視できない。ということは…？
18、アパートよりもこっちに住みたい（作者談）
20、北海道では○○出没注意！？
21、お金は貸せないけれど○○は貸すよ
22、旅のお供に。最近ではデジタルが主流になりました
23、記者○○○○で全貌を話す
25、アニメの「ヤッターマン」では戦闘○○が大活躍!?
27、字は違うけれど、千葉県には春の花の地名があります
29、多忙のため、出張先から○○○帰りで戻ってきた
30、高速道路でも時速100○○以上で走るのは…
31、○○⇄有料

▶応募方法

●クロスワードパズルの答A～Fを記入し、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞を手に入れた場所⑨今月号で一番良かった記事⑩その他のご意見・ご感想をはがきに明記し、〒105-0001　東京都港区虎ノ門4-1-1虎ノ門パストラル内　NPO法人　人と道研究会「17号クロスワード係」宛、3月31日必着でお送りください。パズルの正解者には抽選で30名様に記念品をプレゼントします。

16号の正解は「ニューイヤー」でした

訂正　第16号の14面「日本の米カレンダー」の中で、「島根県太田市」とあるのは「島根県大田市」の誤りでした。

道の駅文庫

「人は成熟するにつれて若くなる」とヘルマン・ヘッセは言っています。

私たちもそのように成熟しながら、健康で、楽しく、美味しく暮らし、いつまでも若々しい気持ちで人生の道を歩いていきたいものです。

道の駅文庫は、そのような視点から、太陽や風を感じられるすぐれた図書を選定し、ご案内いたします。

がんばれ！銚子電鉄
ローカル鉄道とまちづくり
向後　功作　著
定価1470円（税込）

地方鉄道は全国で100社近くあり、7割が赤字で存廃の危機にある。原因は大別して3つ。第1は人口減による利用客数の減少。第2は利用客の質の変化。地方鉄道最大の利用者は高校生で、通学定期だから割引乗車となり、収入が増えない。第3はバスを含めた自動車利用者の増大だ。社会構造の変化と軌を一にし、自治体や住民支援が欠かせないのが現実だ。

銚子鉄道は千葉県の東端、銚子駅から犬吠埼、終点の外川駅まで全長6・4キロのローカル私鉄。2006年11月、約1000万円の車両検査費が捻出できなくなった。前社長が業務横領で逮捕され銀行融資がストップ、県や地方自治体も補助金停止。電車が走れなければ会社は潰れる。

社員は全員で地元企業などに支援を要請。電鉄の副業「ぬれ煎餅」の購入と電車利用を訴えた。この支援要請文を社員の一人が自社のホームページに掲載したことから本書の物語が始まる。「運行維持のためぬれ煎餅を買って下さい。電車修理代を稼がなくちゃいけないんです」。これがインターネット掲示板やニュースサイトで紹介され、全国からぬれ煎餅の注文が殺到。2週間足らずで1万件の注文があり、TV・マスコミで電鉄の危機とぬれ煎餅が報道され、客が急増した。

インターネットを媒介に「銚子電鉄サポーターズ」が結成され市民も合流。サポーターズの支援もあり銚子電鉄は経営危機を脱した。本書は、社員がこの体験を書いたドキュメントである。著者は地方鉄道の生き残りはまちづくりにある、と言う。高齢化と過疎化が進む地方で、ランドマークとしての鉄道があることは住民の誇りだが、効率重視へシフトする流れが続く今日、地方鉄道を支える現場は悩みが多い。銚子電鉄の挑戦は大いに参考になる。

Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都港区虎ノ門4-1-1 虎ノ門パストラル内
Web http://www.route-press21st.jp

新宿ー池袋間を結ぶ新世代高速道路

これが首都高の山手トンネル効果です。

たとえば、中央道ー常磐道間を走るなら、
これまでの都心環状線ルートに比べて、
こんなにすごいんです。

早い！

25分短縮

都心の渋滞を
避けることができるため、
ラッシュ時でも
これだけ時間が
短縮できます。

安い！

ガソリン0.5ℓ節約

快適なスピードで
走れるため、
無駄なガソリンを
使わず、とてもお得
（約70円節約）です。

優しい！

CO_2 1.2kg削減

これは牛乳パックに
換算すると、車1台で
629本分！渋滞を減らす
山手トンネルは、地球に
優しい道路でもあるのです。

× 629本

※数値はすべて当社試算。※車両はガソリン乗用車とし、平坦な路面を走行しているという条件で試算。※ガソリン価格は、レギュラー140円／ℓ。※ガソリン消費量およびCO_2排出量は、それぞれのルートの所要時間から平均速度を算出し試算したもの。

ひと・まち・くらしをネットワーク 首都高速道路株式会社　ETC 便利でお得なETC

2008年秋、首都高は"距離別料金"へ。